



HRD共同調査とは、HIV感染症治療薬の市販後における使用実態、安全性に関する調査です。

## HIV 感染症治療薬共同使用成績調査 2020 年報告書 追補版

(1997 年 8 月 ～ 2020 年 3 月)

医療関係者各位

HIV 感染症治療薬(抗 HIV 薬及び HIV 関連疾患治療薬)共同使用成績調査(以下、本調査)へご協力頂きありがとうございました。

本調査にて収集された当該薬剤の使用実態、有効性及び安全性についての情報を医療の現場にフィードバックするため、1997 年調査開始時より年度毎に調査結果の概要を別途、冊子としてまとめてきておりますが、本調査結果の概要について、簡潔にまとめた追補版の小冊子を作成いたしました。本小冊子が診療のご参考になれば幸いと考えております。

なお、本小冊子は、HIV 診療に携わる専門医の先生方のご意見を参考に作成致しました。

2020 年 11 月

HRD共同調査協議会

ヴィーブヘルスケア株式会社

MSD株式会社

ギリアド・サイエンシズ株式会社

ヤンセンファーマ株式会社

シミック株式会社(CRO: 調査受託会社)



# HIV 感染症治療薬共同使用成績調査

## 2020 年報告書 追補版

(1997 年 8 月 ～ 2020 年 3 月)

# 目次

調査対象薬剤	1
<調査対象全症例における治療開始後の CD4 数の推移>	3
・ 治療開始後の CD4 数の推移	
・ 治療開始後の CD4 数の推移	
(2001 年 3 月以前に治療開始した症例)	
(2001 年 4 月から 2010 年 3 月に治療開始した症例)	
(2010 年 4 月以降に治療開始した症例)	
<調査対象全症例における治療開始後の CD4 数の推移>	4
・ 治療開始後の CD4 増加数の推移	
・ 治療開始後の CD4 増加数の推移	
(2001 年 3 月以前に治療開始した症例)	
(2001 年 4 月から 2010 年 3 月に治療開始した症例)	
(2010 年 4 月以降に治療開始した症例)	
<調査対象全症例における治療開始後の HIV-RNA コピー数の推移>	5
・ 治療開始後の HIV-RNA コピー数の推移	
・ 治療開始後の HIV-RNA コピー数の推移	
(2001 年 3 月以前に治療開始した症例)	
(2001 年 4 月から 2010 年 3 月に治療開始した症例)	
(2010 年 4 月以降に治療開始した症例)	
<調査対象全症例における治療開始時期別生存率>	6
・ HRD 共同調査生存率	
治療開始時期で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率	
<調査対象全症例における治療開始時期別生存率(AIDS 指標疾患による死亡)>	7
・ HRD 共同調査生存率	
治療開始時期で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率	
<調査対象全症例における治療開始時の CD4 数別生存率(全死亡)>	8
・ HRD 共同調査生存率	
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率	
<調査対象全症例における治療開始時の CD4 数別生存率(全死亡)>	9
・ HRD 共同調査生存率	
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2001 年 3 月以前に治療開始し	

た症例)

- ・ HRD 共同調査生存率  
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2001 年 4 月から 2010 年 3 月に治療開始した症例)
- ・ HRD 共同調査生存率  
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2010 年 4 月以降に治療開始した症例)

<調査対象全症例における治療開始時の CD4 数別生存率(AIDS 指標疾患による死亡)>.....10

- ・ HRD 共同調査生存率(AIDS 指標疾患による死亡)  
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率

<調査対象全症例における治療開始時の CD4 数別生存率(AIDS 指標疾患による死亡)>.....11

- ・ HRD 共同調査生存率(AIDS 指標疾患による死亡)  
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2001 年 3 月以前に治療開始した症例)
- ・ HRD 共同調査生存率(AIDS 指標疾患による死亡)  
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2001 年 4 月から 2010 年 3 月に治療開始した症例)
- ・ HRD 共同調査生存率(AIDS 指標疾患による死亡)  
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2010 年 4 月以降に治療開始した症例)

<調査対象全症例における治療開始時の年齢別生存率>.....12

- ・ HRD 共同調査生存率  
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率

<調査対象全症例における治療開始時の年齢別生存率>.....13

- ・ HRD 共同調査生存率  
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2001 年 3 月以前に治療開始した症例)
- ・ HRD 共同調査生存率  
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2001 年 4 月から 2010 年 3 月に治療開始した症例)
- ・ HRD 共同調査生存率  
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2010 年 4 月以降に治療開始した症例)

<調査対象全症例における治療経験有無別の治療開始時の CD4 数及び HIV-RNA コピー数>.....14

- ・ 治療経験が無い患者(naïve 患者)の治療開始時の CD4 数
- ・ 併用療法薬剤変更時の CD4 数

- ・ 治療経験が無い患者 (naïve 患者) の治療開始時の HIV-RNA コピー数
- ・ 併用療法薬剤変更時の HIV-RNA コピー数

<2017 年度から 2019 年度に使用された調査対象症例における併用療法の種類(薬剤組合せ)>.....15

<調査対象全症例における治療開始後の体重の推移>.....16

- ・ 治療経験が無く (naïve) かつ INSTI の投与がない患者
- ・ 治療経験が無く (naïve) かつ INSTI の投与がある患者
- ・ 治療経験が有り (experienced) かつ本調査前及び本調査期間中において INSTI の投与がない患者
- ・ 治療経験が有り (experienced) かつ本調査前及び本調査期間中において INSTI の投与がある患者

調査対象薬剤

HIV 感染症治療薬の共同使用成績調査に合意している会社薬剤

(2020 年 3 月現在再審査期間中の市販薬剤)

医薬品名	薬剤名(略号)	再審査期間
エゾラント錠 25mg	リビビリン (RPV)	2012 年 5 月～2022 年 5 月
スタビルド配合錠	エルビテグラビル/コビスタット/エムトリシタビン /テノホビル シソフ ロキシル fumarate 塩 (EVG/COBI/FTC/TDF)	2013 年 3 月～2023 年 3 月
ビクテグ配合錠 50mg	ドルテグラビル (DTG)	2014 年 3 月～2024 年 3 月
コムプレラ配合錠	リビビリン/テノホビル・シソフ ロキシル fumarate 塩 /エムトリシタビン (RPV/TDF/FTC)	2014 年 11 月～2022 年 5 月
トリメク配合錠	ドルテグラビル/アバカビル流酸塩/ラミブジン (DTG/ABC/3TC)	2015 年 3 月～2024 年 3 月
ゲンボイ配合錠	エルビテグラビル/コビスタット/エムトリシタビン/ テノホビル アラフェナミド fumarate 塩 (EVG/COBI/FTC/TAF)	2016 年 6 月～2026 年 6 月
プレジコックス配合錠	ダルナビル エタノール付加物/コビスタット (DRV/COBI)	2016 年 11 月～2023 年 3 月
テシコビ配合錠 LT	エムトリシタビン/テノホビル アラフェナミド fumarate 塩 (FTC/TAF)	2016 年 12 月～2026 年 6 月
テシコビ配合錠 HT		
アイセントリス錠 600mg	ラルテグラビル (RAL)	2018 年 5 月～2024 年 5 月
オテフシ配合錠	リビビリン塩酸塩/テノホビル アラフェナミド fumarate 塩 /エムトリシタビン (RPV/TAF/FTC)	2018 年 8 月～2026 年 6 月
ジヤルカ配合錠	ドルテグラビルナトリウム/リビビリン塩酸塩 (DTG/RPV)	2018 年 11 月～2024 年 11 月
ビクタビル配合錠	ビクテグラビルナトリウム/エムトリシタビン/テノホビル アラフェナミド fumarate 塩 (BIC/FTC/ TAF)	2019 年 3 月～2029 年 3 月
シムツザ配合錠	ダルナビル/コビスタット/エムトリシタビン/テノホビル アラフェナミド fumarate 塩	2019 年 6 月～2026 年 6 月
トウベイト配合錠	ドルテグラビルナトリウム/ラミブジン	2020 年 1 月～2026 年 1 月
ビフェルトロ錠 100mg	トラビリン	2020 年 1 月～2030 年 1 月

(参考:2020年3月現在再審査期間が終了している薬剤)

医薬品名	薬剤名(略号)	再審査期間
エビテル錠 150, 300	ラミブジン (3TC)	1997年2月～2007年2月
コンビテル配合錠	ジドブジン (AZT)・ラミブジン (3TC)	1999年6月～2007年2月
クリキハソカフセル <sup>※1</sup>	インジナビル硫酸塩 (IDV)	1997年3月～2007年3月
点滴静注用ホスカルビル	ホスカルネットナトリウム水和物	1997年3月～2007年3月
ゼリットカフセル <sup>※1</sup>	サニルブジン (d4T)	1997年7月～2007年7月
テノソカフセル <sup>※1</sup>	ガンシクロビル	1997年7月～2007年7月
インビラセカフセル <sup>※1</sup>	サキナビルメシル酸塩 (SQV-HGC)	1997年9月～2007年9月
ノービア内用液・ソフトカフセル <sup>※1</sup>	リトナビル (RTV)	1997年11月～2007年11月
ビラセプト錠 250mg	ネルフイナビルメシル酸塩 (NFV)	1998年3月～2008年3月
クラリス錠・トライシロップ	クラリスロマイシン (CAM)	1998年9月～2008年9月
クラリッド錠・トライシロップ	クラリスロマイシン (CAM)	1998年9月～2008年9月
ビラミューン錠	ネビラピン (NVP)	1998年11月～2008年11月
ザイアジエン錠	アバカビル硫酸塩 (ABC)	1999年9月～2009年9月
ストックリン錠 200mg, 600mg	エファビレンツ (EFV)	1999年9月～2009年9月
カレトラ配合錠・配合内用液	ロピナビル (LPV)・リトナビル (RTV)	2000年12月～2010年12月
エゾグム配合錠	ラミブジン (3TC)・アバカビル硫酸塩 (ABC)	2004年12月～2010年12月
ジスロマック錠 600mg	アジスロマイシン	2001年12月～2011年12月
カレトラ配合錠	ロピナビル (LPV)・リトナビル (RTV)	2011年4月～2013年3月 <sup>※2</sup>
レイアタツカフセル 150mg, 200mg	アタザナビル硫酸塩 (ATV)	2003年12月～2013年12月
ビリアード錠 300mg	テノホビルジソプロキシルマル酸塩 (TDF)	2004年3月～2014年3月
バリキサ錠 450mg	バルガシクロビル塩酸塩	2004年11月～2014年11月
レクシヴァ錠 700	ホスアンプレナビルカルシウム水和物 (fAPV)	2004年12月～2014年12月
エムトリバカフセル 200mg	エムトリシタビン (FTC)	2005年3月～2015年3月
ツルバダ配合錠	エムトリシタビン・テノホビルジソプロキシルマル酸塩 (FTC/TDF)	2005年3月～2015年3月
プリジスタ錠 300mg <sup>※1</sup>	ダルナビル (DRV)	2007年11月～2017年11月
プリジスタ錠 600mg	ダルナビル (DRV)	2014年12月～2017年11月
プリジスタナイーブ錠 400mg <sup>※1</sup>	ダルナビル (DRV)	2009年8月～2017年11月
プリジスタナイーブ錠 800mg	ダルナビル (DRV)	2013年7月～2017年11月
アイセントレス錠 400mg	ラルテグラビル (RAL)	2008年6月～2018年6月
ミコフティンカフセル 150mg	リファブチン	2008年7月～2018年7月
インテリス錠 100mg	エトラビリン (ETR)	2008年12月～2018年12月
シーエルセントリ錠 150mg	マラビロク (MVC)	2008年12月～2018年12月
サムチレル内用懸濁液 15%	アトバコン	2012年1月～2020年1月

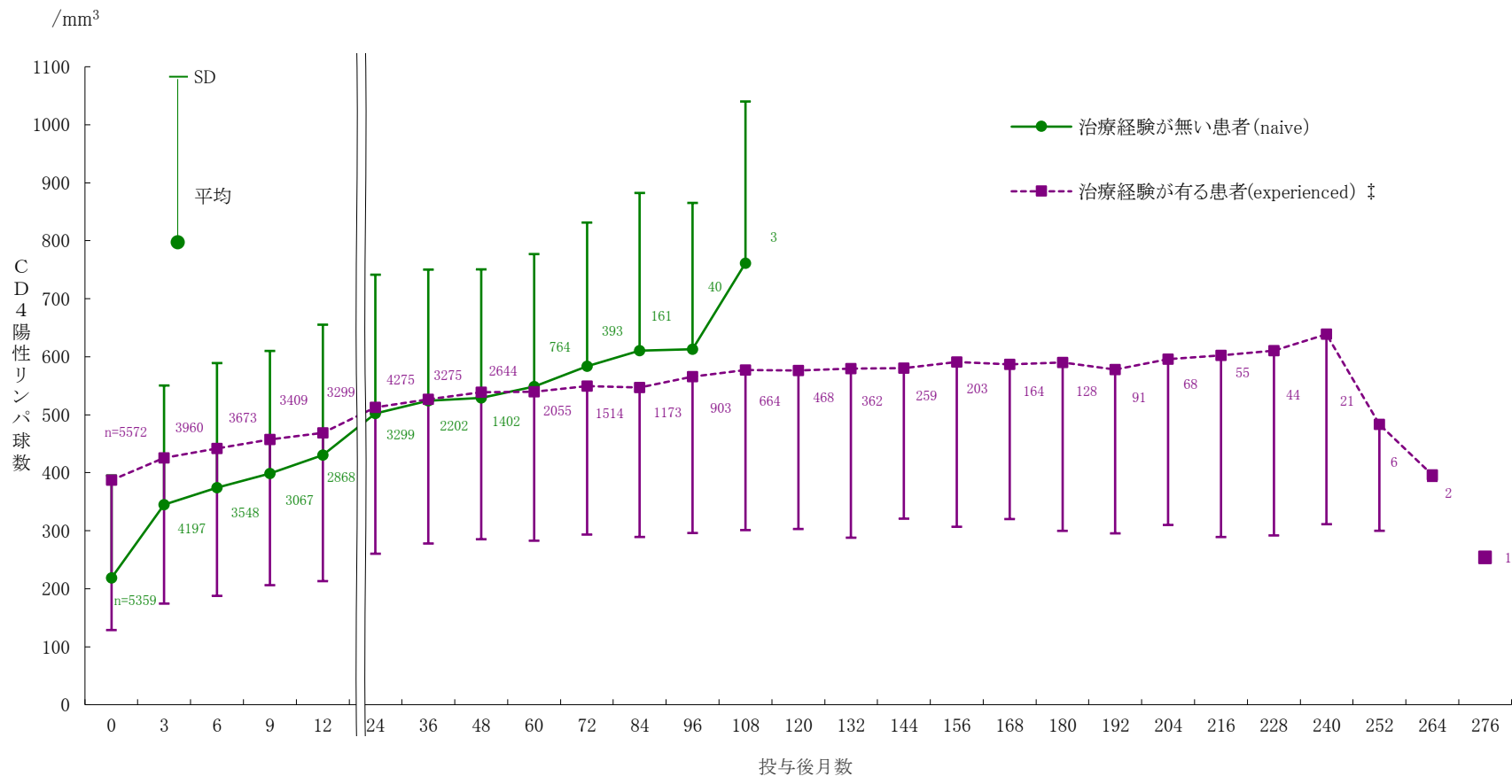
※1: クリキハソカフセル・ゼリットカフセル・テノソカフセル・インビラセカフセル・ノービアソフトカフセル・プリジスタ錠 300mg・プリジスタナイーブ錠 400mg は現在、販売されておりません。

※2: カレトラ配合錠の用法追加(1日1回)は再審査対象ではないため調査期間を示しております。



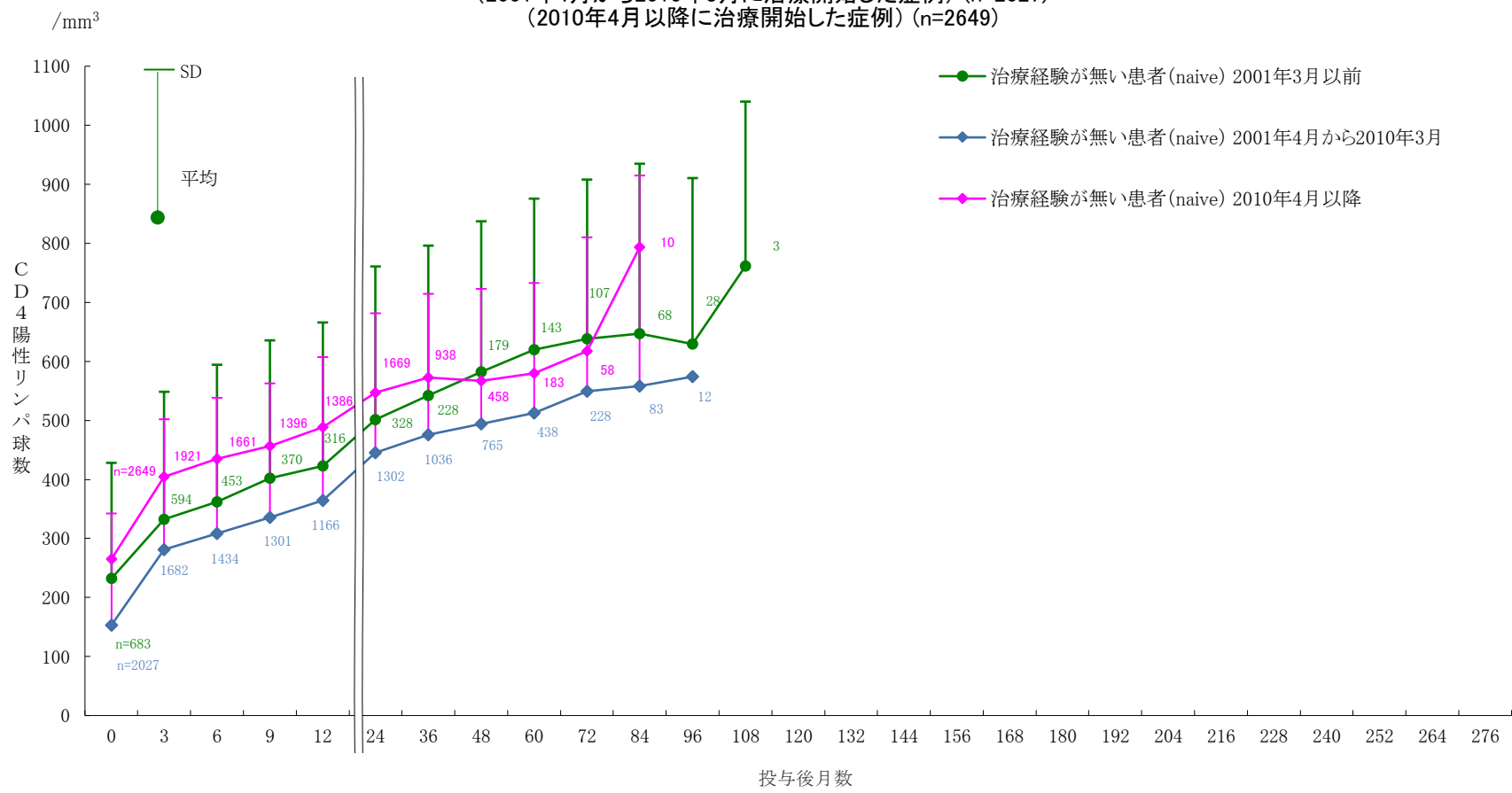
<調査対象全症例における治療開始後のCD4数の推移>

治療開始後のCD4数の推移<sup>†</sup>  
(調査期間: 1997年8月から2020年3月) (n=10931)



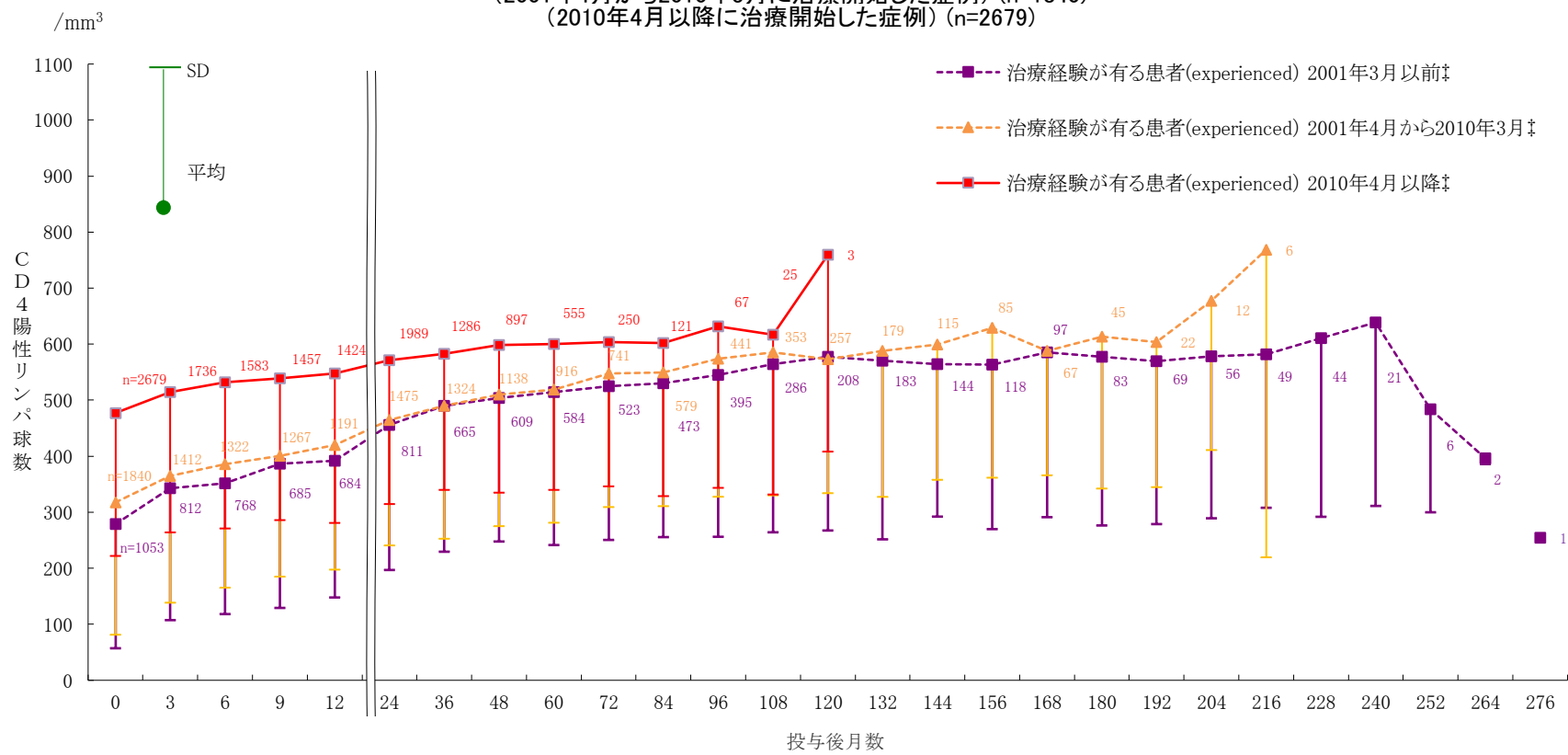
<sup>†</sup> 治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。  
<sup>‡</sup> 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

治療開始後のCD4数の推移<sup>†</sup>  
(2001年3月以前に治療開始した症例) (n=683)  
(2001年4月から2010年3月に治療開始した症例) (n=2027)  
(2010年4月以降に治療開始した症例) (n=2649)



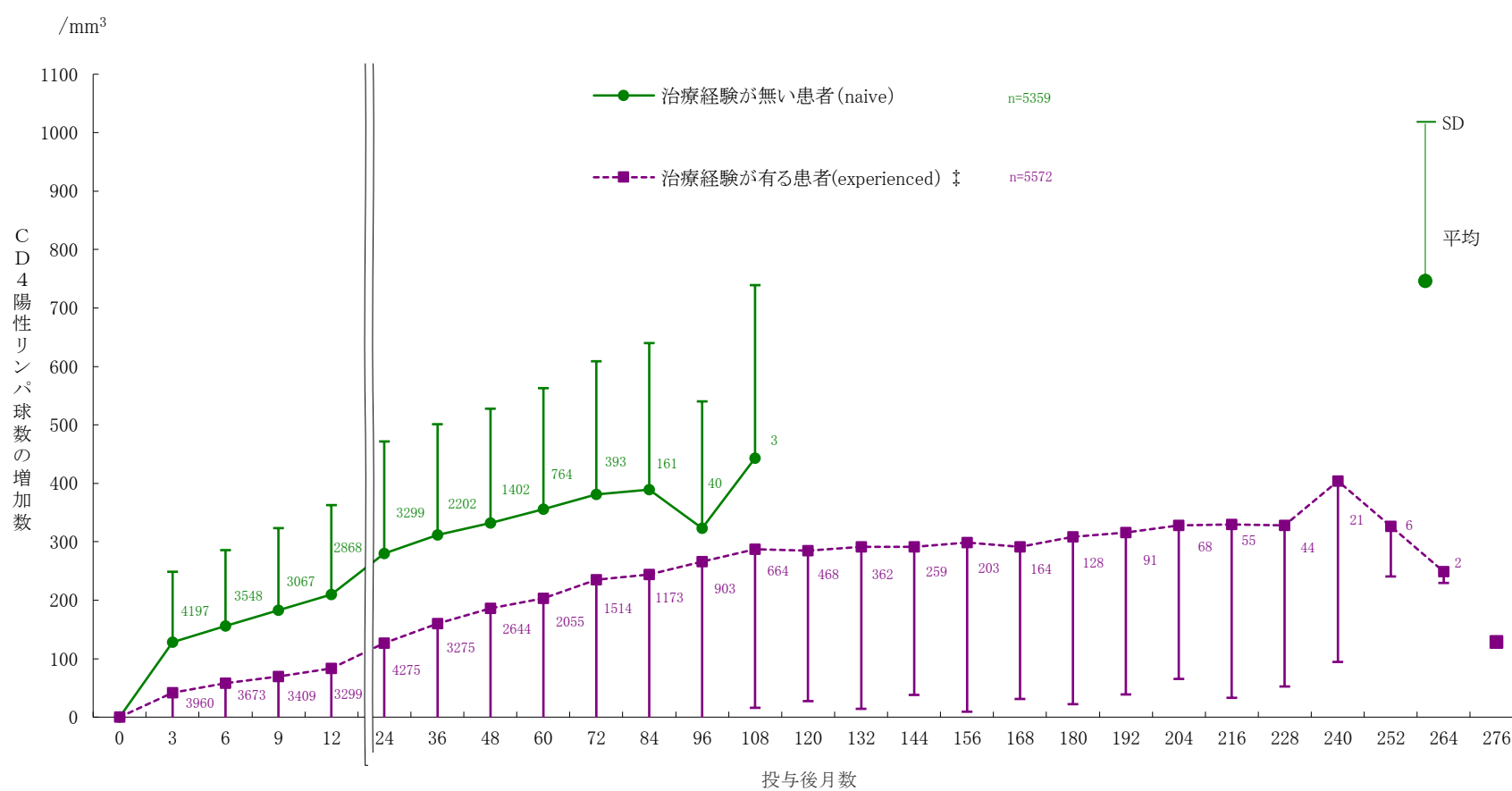
<sup>†</sup> 治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。

治療開始後のCD4数の推移<sup>†</sup>  
(2001年3月以前に治療開始した症例) (n=1053)  
(2001年4月から2010年3月に治療開始した症例) (n=1840)  
(2010年4月以降に治療開始した症例) (n=2679)



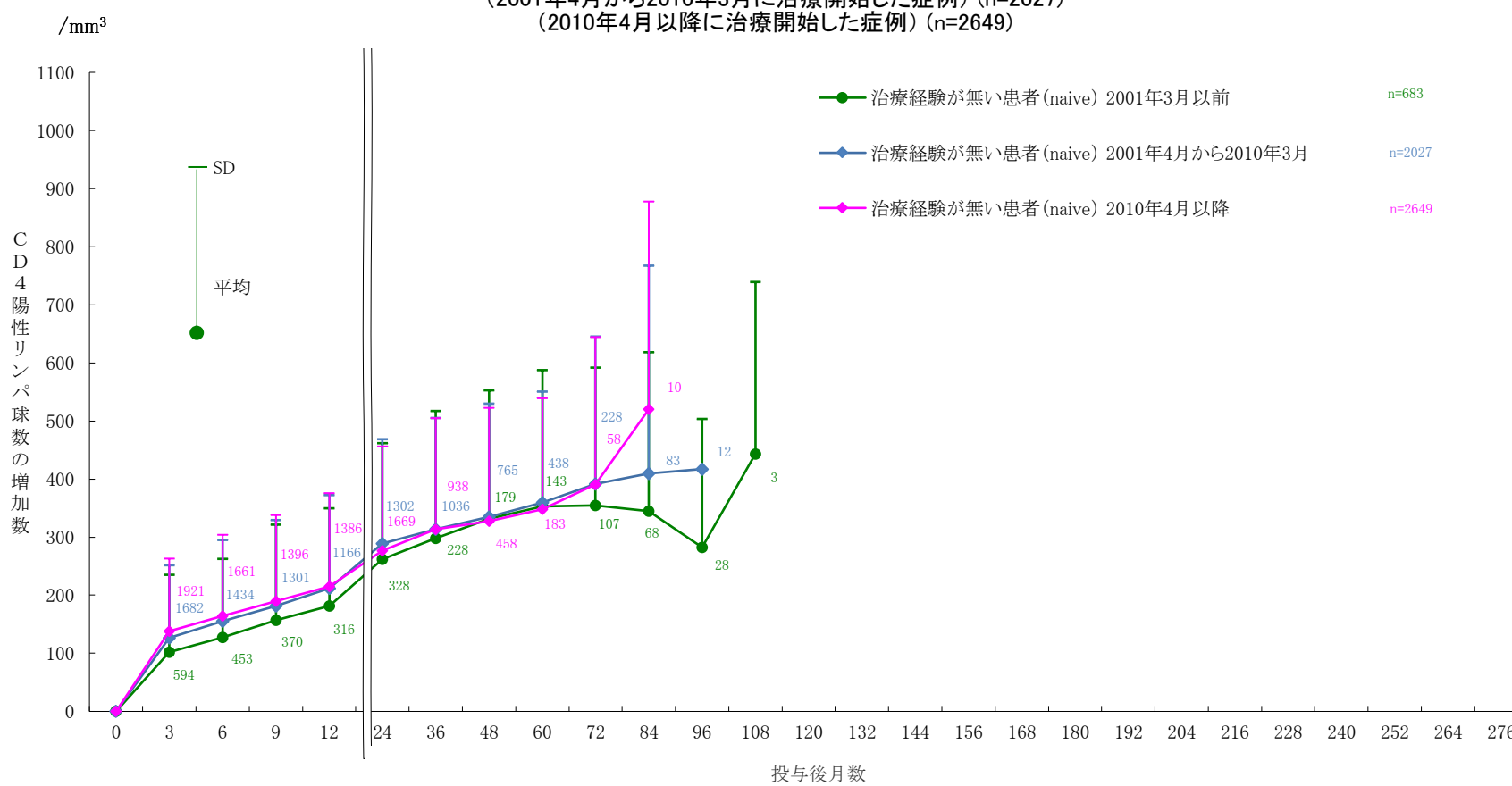
<sup>†</sup> 治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。  
<sup>‡</sup> 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

治療開始後のCD4増加数の推移<sup>†</sup>  
 (調査期間: 1997年8月から2020年3月) (n=10931)



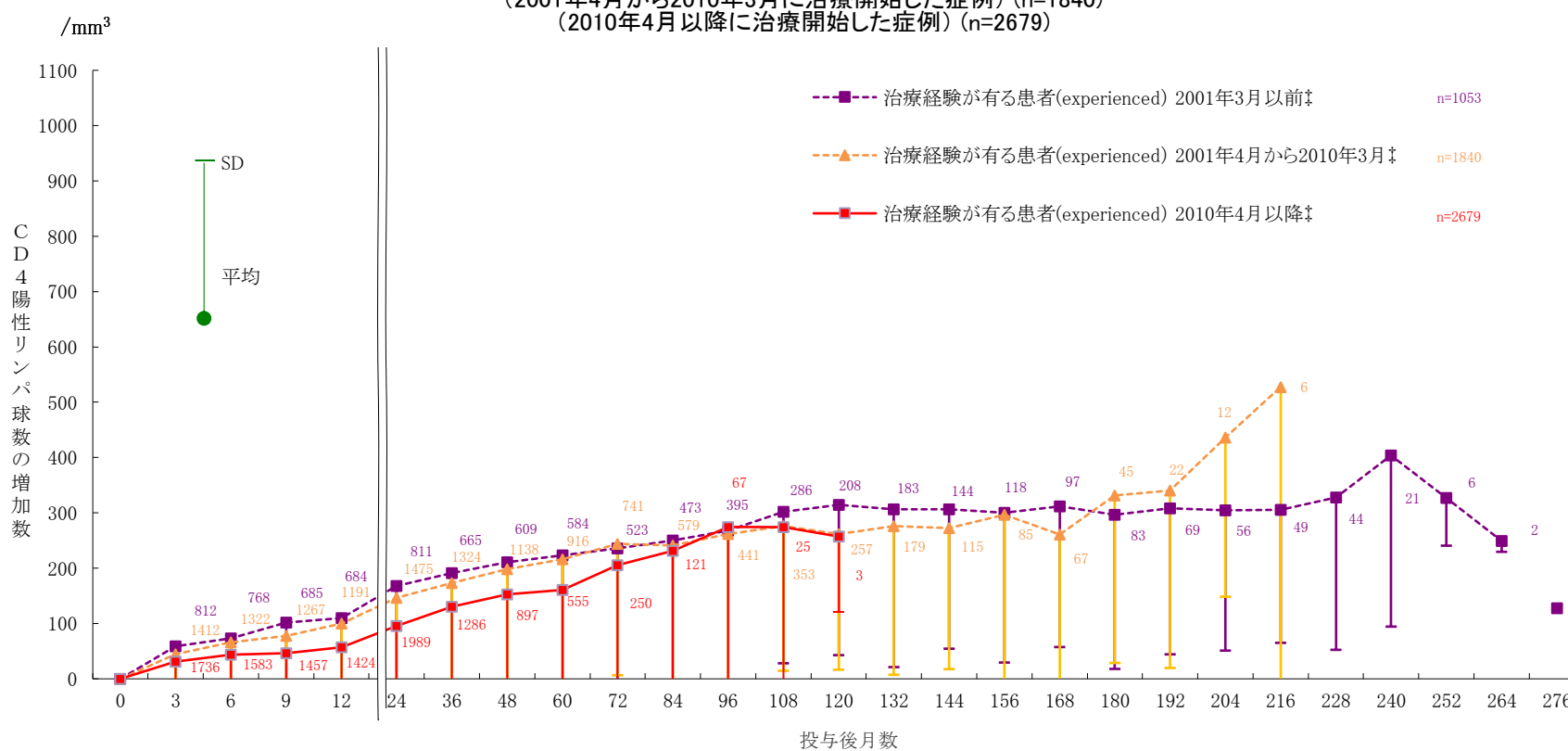
CD4数については治療開始時(投与後0ヶ月)を0とし、その後の差分を表した。  
<sup>†</sup> 治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。  
<sup>‡</sup> 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

治療開始後のCD4増加数の推移<sup>†</sup>  
 (2001年3月以前に治療開始した症例) (n=683)  
 (2001年4月から2010年3月に治療開始した症例) (n=2027)  
 (2010年4月以降に治療開始した症例) (n=2649)



CD4数については治療開始時(投与後0ヶ月)を0とし、その後の差分を表した。  
<sup>†</sup> 治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。

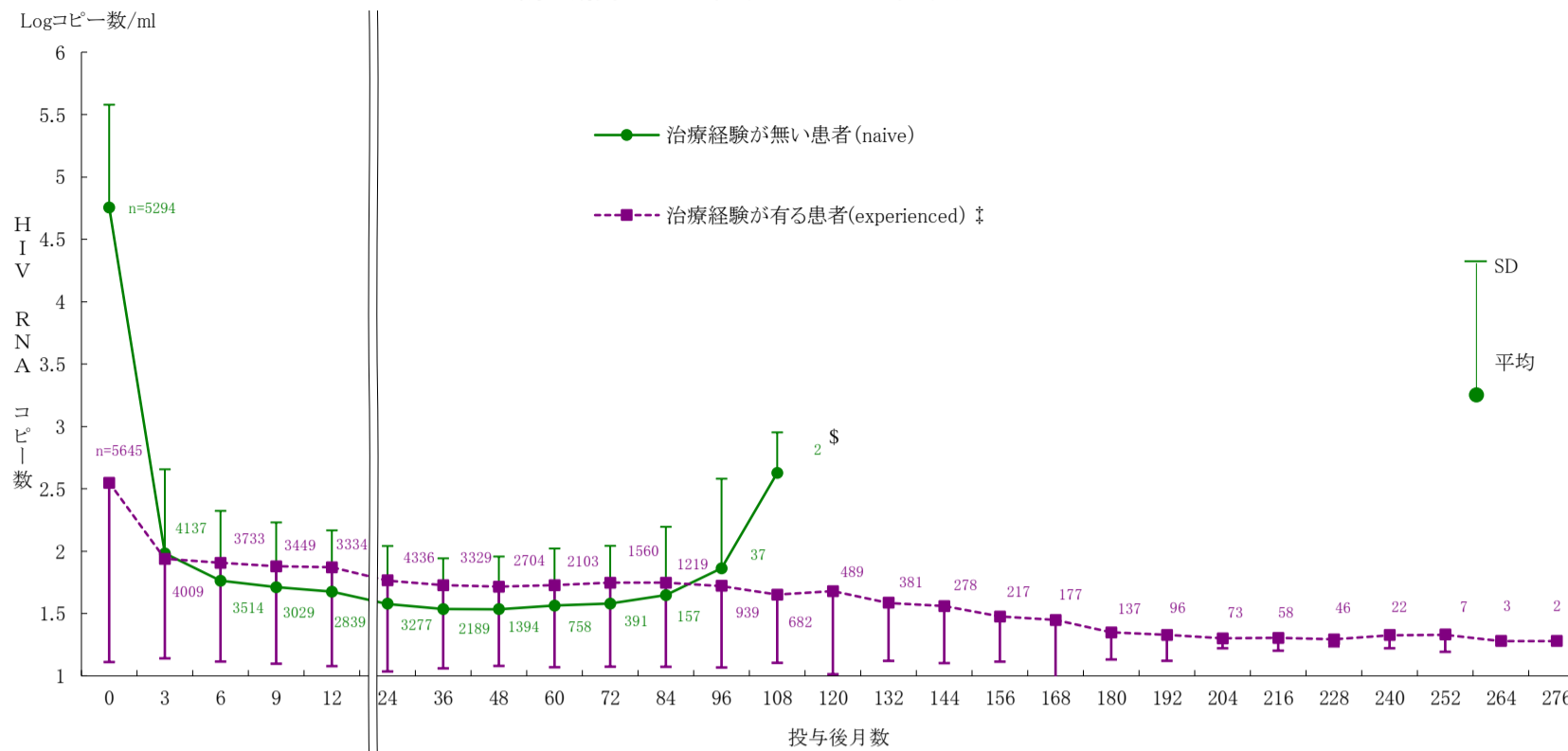
治療開始後のCD4増加数の推移<sup>†</sup>  
 (2001年3月以前に治療開始した症例) (n=1053)  
 (2001年4月から2010年3月に治療開始した症例) (n=1840)  
 (2010年4月以降に治療開始した症例) (n=2679)



CD4数については治療開始時(投与後0ヶ月)を0とし、その後の差分を表した。  
<sup>†</sup> 治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。  
<sup>‡</sup> 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

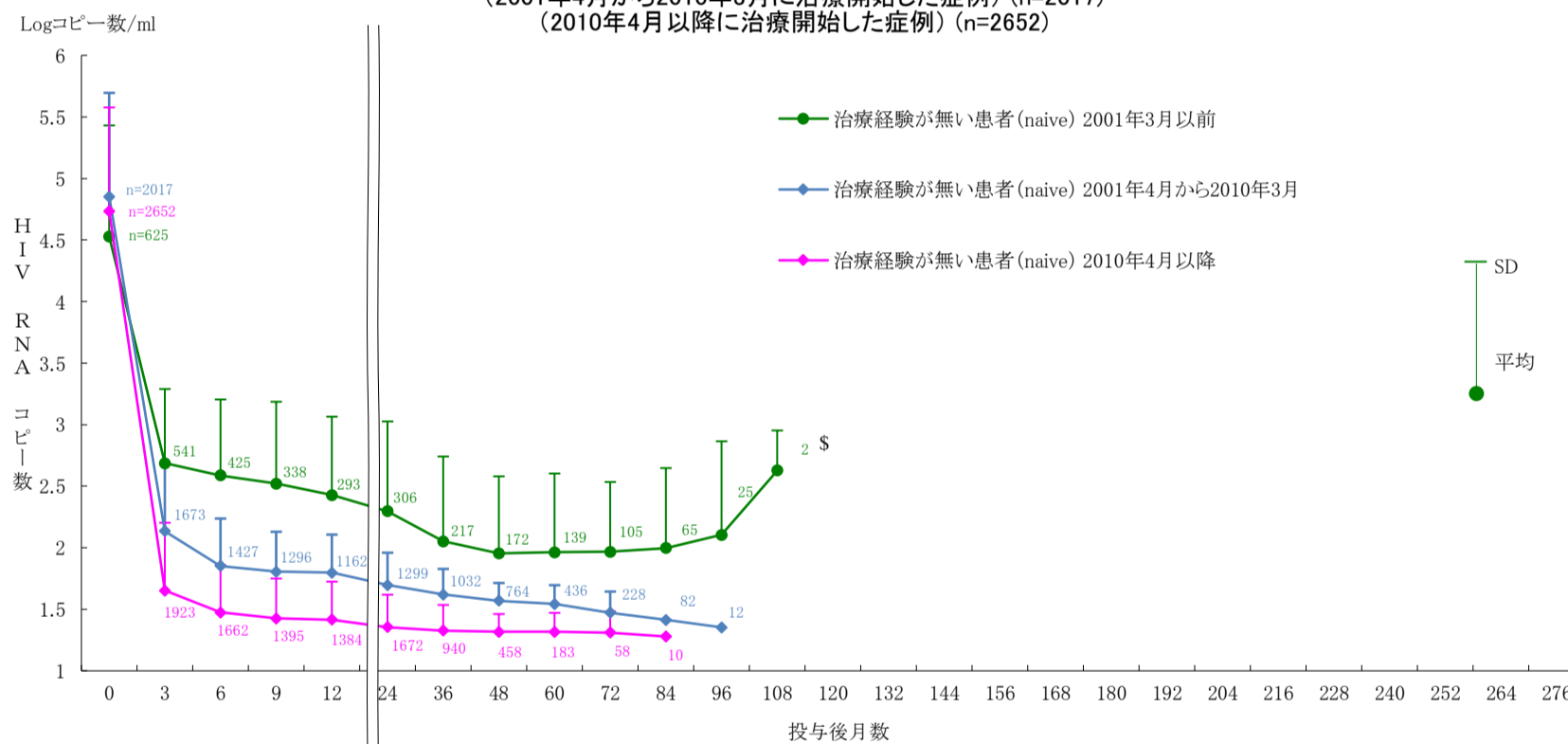
＜調査対象全症例における治療開始後のHIV-RNAコピー数の推移＞

治療開始後のHIV-RNAコピー数の推移<sup>†</sup>  
(調査期間: 1997年8月から2020年3月) (n=10939)



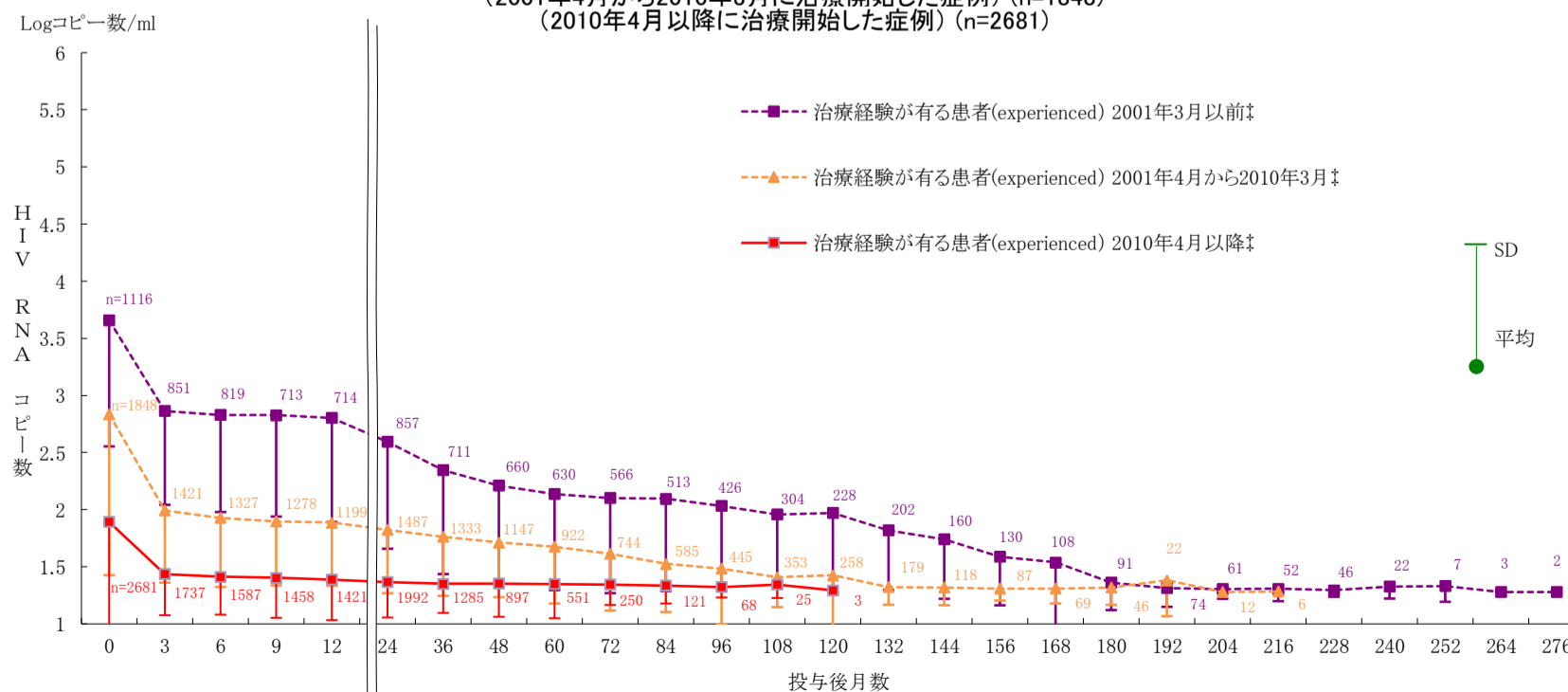
† HIV-RNAコピー数のMean±S.D.は、対数変換後算出を行った。  
 治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。  
 ‡ 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。  
 § Naïve症例のHIV-RNAコピー数の96及び108月目の平均値が上昇しているが、一度も検出限界以下になっていない1990年代の症例に継続投与されたデータのため、母数が減少するとともに平均値が上昇している。  
 HIV-RNAコピー数の検出限界値は、調査開始から2008年3月は399、2008年4月から2010年は39、2011年以降(施設により異なる)は19に読替えを行った。

治療開始後のHIV-RNAコピー数の推移<sup>†</sup>  
(2001年3月以前に治療開始した症例) (n=625)  
(2001年4月から2010年3月に治療開始した症例) (n=2017)  
(2010年4月以降に治療開始した症例) (n=2652)



† HIV-RNAコピー数のMean±S.D.は、対数変換後算出を行った。  
 治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。  
 § Naïve症例のHIV-RNAコピー数の96及び108月目の平均値が上昇しているが、一度も検出限界以下になっていない1990年代の症例に継続投与されたデータのため、母数が減少するとともに平均値が上昇している。  
 HIV-RNAコピー数の検出限界値は、調査開始から2008年3月は399、2008年4月から2010年は39、2011年以降(施設により異なる)は19に読替えを行った。

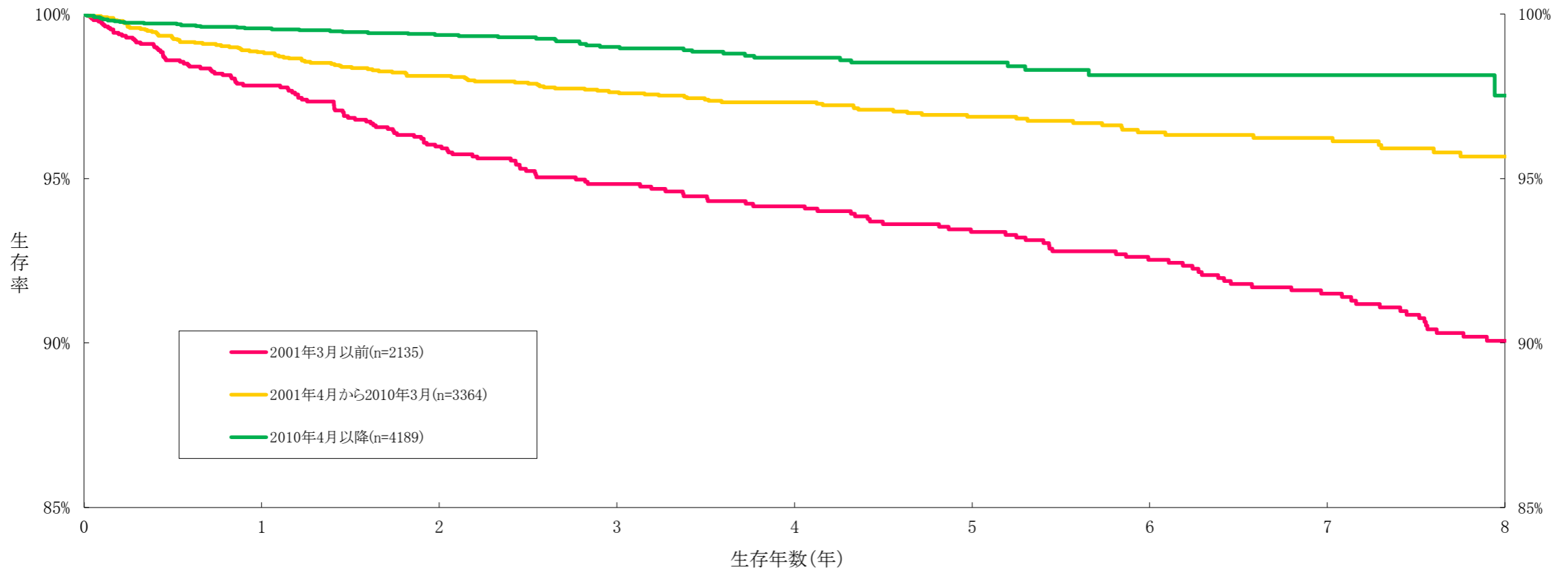
治療開始後のHIV-RNAコピー数の推移<sup>†</sup>  
(2001年3月以前に治療開始した症例) (n=1116)  
(2001年4月から2010年3月に治療開始した症例) (n=1848)  
(2010年4月以降に治療開始した症例) (n=2681)



† HIV-RNAコピー数のMean±S.D.は、対数変換後算出を行った。  
 治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。  
 ‡ 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。  
 HIV-RNAコピー数の検出限界値は、調査開始から2008年3月は399、2008年4月から2010年は39、2011年以降(施設により異なる)は19に読替えを行った。

<調査対象全症例における治療開始時期別生存率>

HRD共同調査生存率  
治療開始時期で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率  
(調査期間:1997年8月から2020年3月)



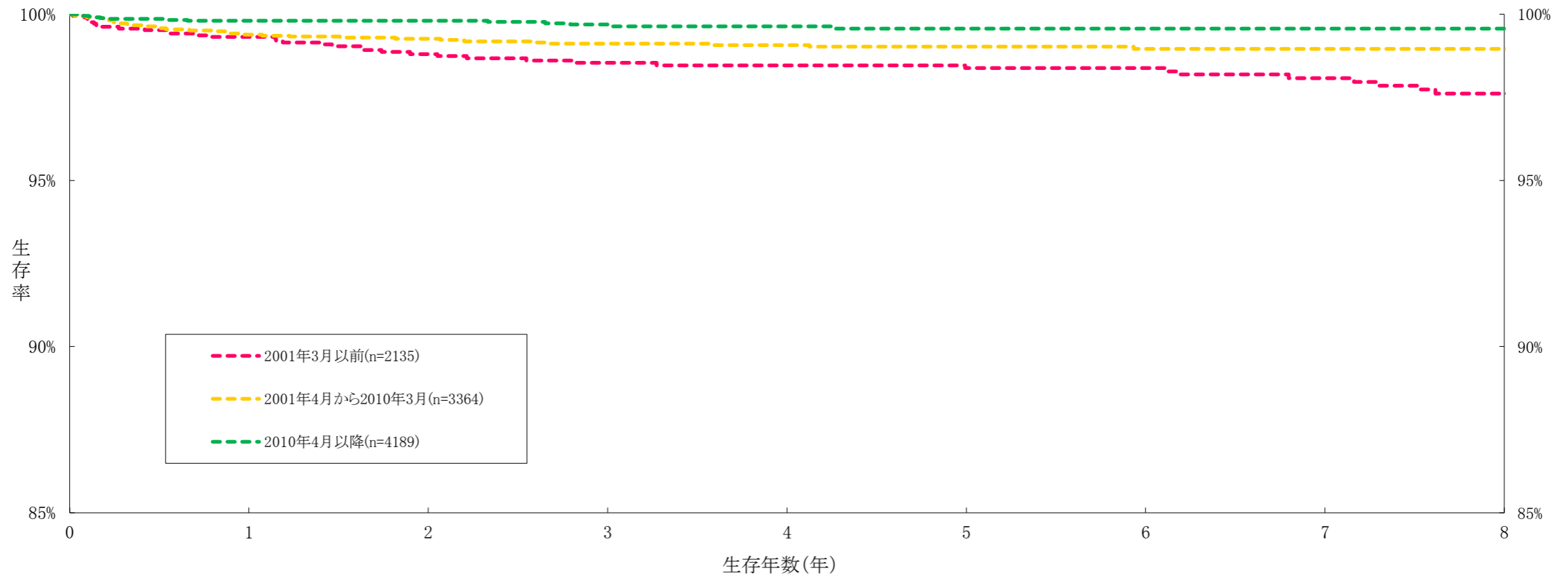
治療開始時期	生存年数												
	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)		
2001年3月以前	2135	1842	1600	1341	1229	1155	1042	907	742	572	403		
2001年4月から2010年3月	3364	3117	2884	2660	2240	1681	1287	954	706	574	386		
2010年4月以降	4189	3658	2872	2089	1447	953	494	258	149	18	-		
治療開始時期別の生存者数	治療開始時期	生存年数											
		(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)	(19年)	(20年)	(21年)	(22年)
	2001年3月以前	341	274	228	194	165	126	98	87	71	48	19	12
	2001年4月から2010年3月	256	151	110	72	46	22	13	2	-	-	-	-
	2010年4月以降	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

治療開始時期別	Log rank test
2001年3月以前 vs 2001年4月以降	p=0.000 **
2010年3月以前 vs 2010年4月以降	p=0.000 **

上記の表は9年以降の生存者数も表記した。

<調査対象全症例における治療開始時期別生存率>

HRD共同調査生存率(AIDS指標疾患による死亡)  
 治療開始時期で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率  
 (調査期間:1997年8月から2020年3月)



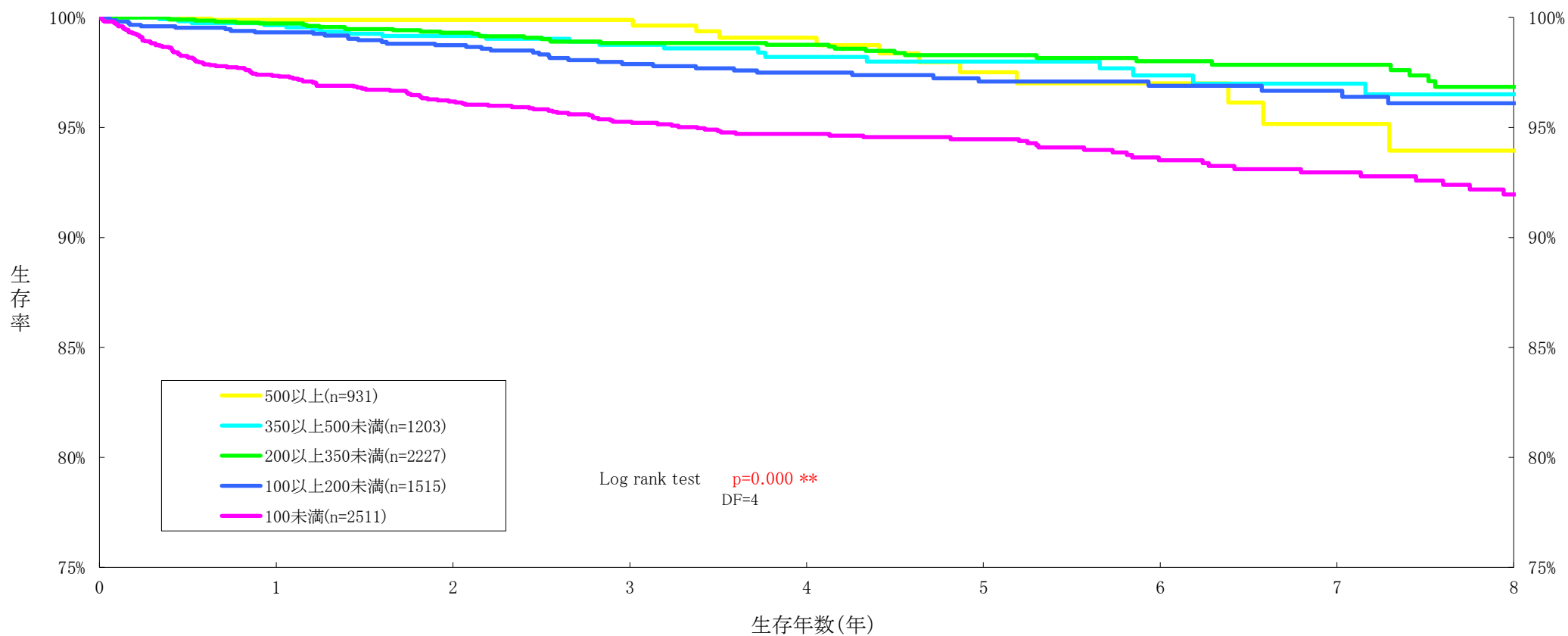
	治療開始時期	生存年数											
		0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	
治療開始時期別の生存者数	2001年3月以前	2135	1842	1600	1341	1229	1155	1042	907	742	572	403	
	2001年4月から2010年3月	3364	3117	2884	2660	2240	1681	1287	954	706	574	386	
	2010年4月以降	4189	3658	2872	2089	1447	953	494	258	149	18	-	
	治療開始時期	生存年数											
		(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)	(19年)	(20年)	(21年)	(22年)
	2001年3月以前	341	274	228	194	165	126	98	87	71	48	19	12
	2001年4月から2010年3月	256	151	110	72	46	22	13	2	-	-	-	-
	2010年4月以降	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

治療開始時期別	Log rank test
2001年3月以前 vs 2001年4月以降	p=0.000 **
2010年3月以前 vs 2010年4月以降	p=0.000 **

上記の表は9年以降の生存者数も表記した。

<調査対象全症例における治療開始時のCD4数別生存率(全死亡)>

HRD共同調査生存率  
治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率  
(調査期間: 1997年8月から2020年3月)

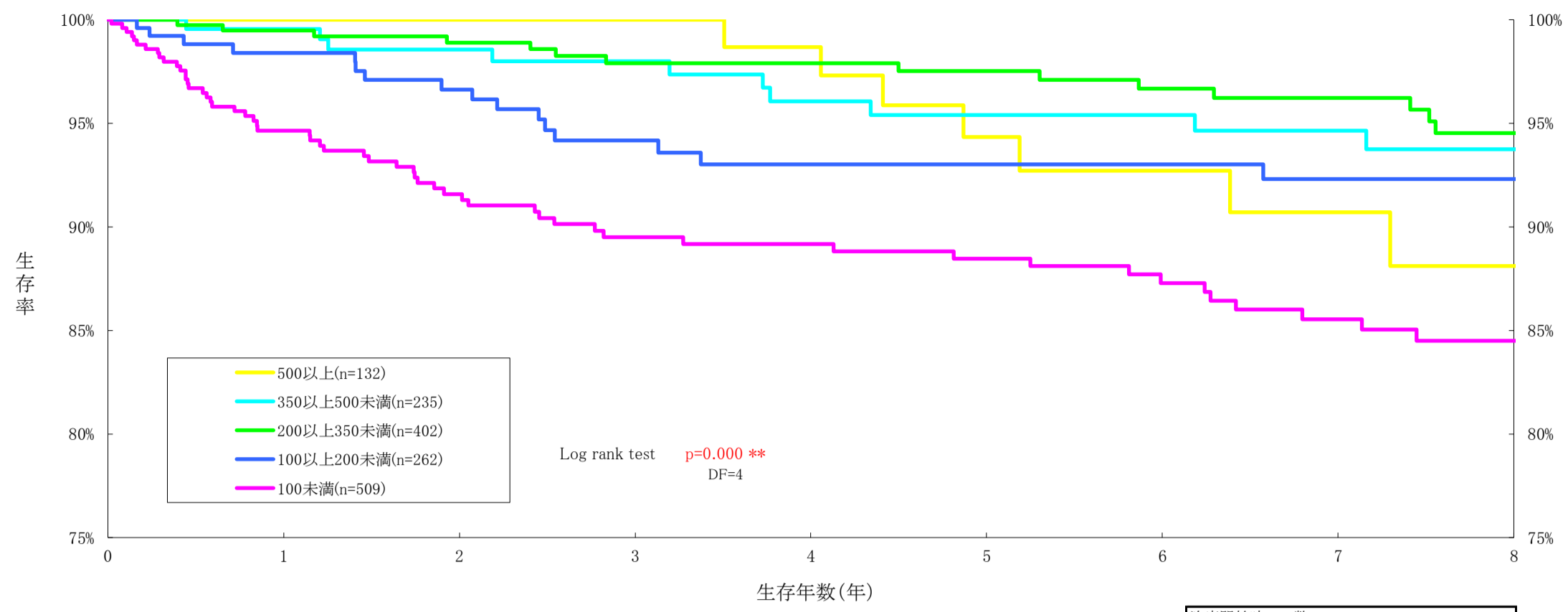


治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。  
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。  
治療開始時のCD4数500前後において群間に有意な差を認めなくなっているが、観察期間後期では、打ち切り(転院等による追跡不能例、生存しているが調査終了により追跡ができない例など)により各群の症例数が少なくなったこと等が要因として考えられる。  
下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.016 *
350未満 vs 350以上	p=0.000 **
200未満 vs 200以上	p=0.000 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

治療開始時 CD4数	治療開始時 CD4数	生存年数											
		0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	
治療開始時 CD4数別の 生存者数	<100	2511	2175	1905	1625	1355	1041	754	561	395	277	195	
	<200	1515	1388	1241	1061	876	655	489	361	268	202	140	
	<350	2227	2013	1771	1461	1147	860	633	452	331	235	155	
	<500	1203	1051	810	629	483	380	278	206	163	107	74	
	500 ≤	931	807	572	413	300	204	133	83	63	39	23	
	治療開始時 CD4数	生存年数											
		(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)	(19年)	(20年)	(21年)	(22年)
	<100	142	103	86	69	56	40	26	17	11	8	4	3
	<200	108	70	56	45	35	22	20	20	17	11	4	2
	<350	111	84	65	51	43	29	26	22	16	11	5	4
	<500	56	37	30	26	19	11	9	7	6	2	2	2
	500 ≤	15	11	9	8	7	4	2	2	2	1	0	0

HRD共同調査生存率  
治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率  
(2001年3月以前に治療開始した症例)

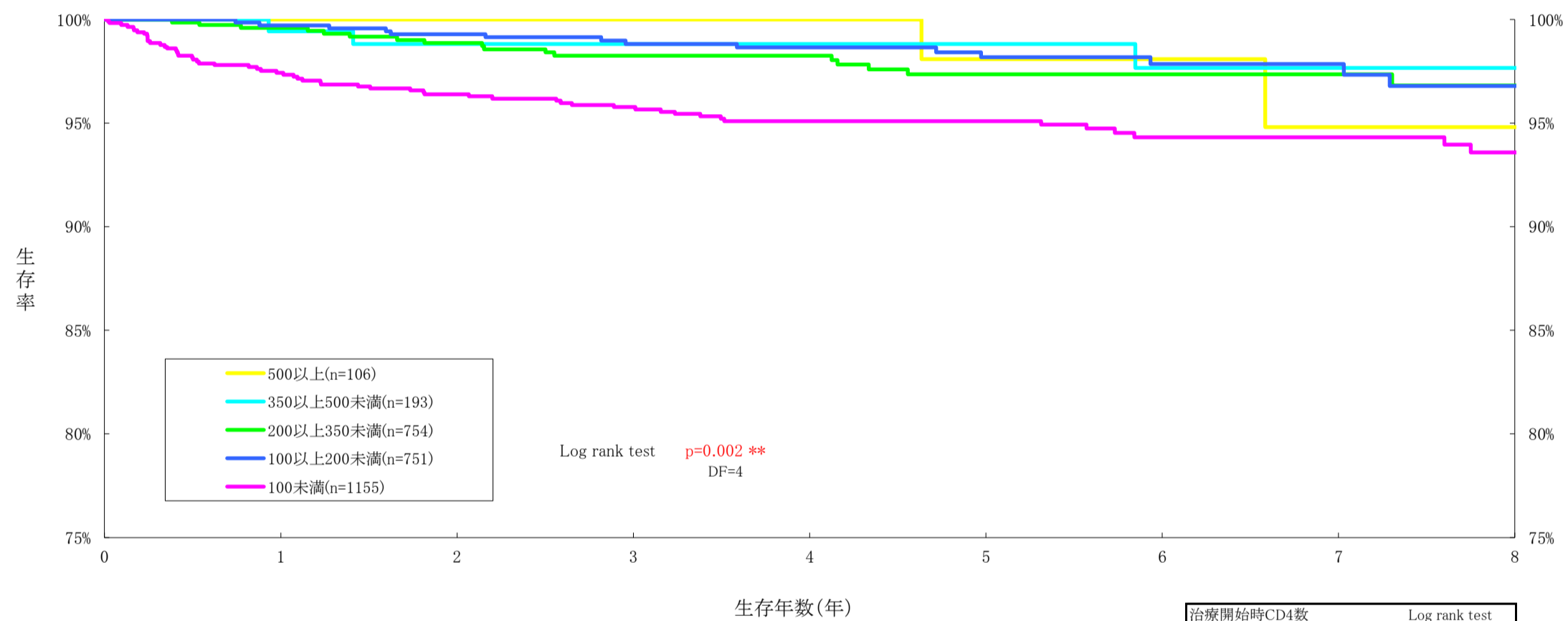


治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。  
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法構成比など)による影響は考慮していない。  
治療開始時のCD4数500前後において群間に有意な差を認めなくなっているが、観察期間後期では、打ち切り(転院等)による追跡不能例、生存しているが調査終了により追跡ができない例などにより各群の症例数が少なくなったこと等が要因として考えられる。  
下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.645
350未満 vs 350以上	p=0.025 *
200未満 vs 200以上	p=0.000 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

治療開始時CD4数	0年	生存年数																					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)	(19年)	(20年)	(21年)	(22年)
<100	509	397	332	278	259	249	212	176	144	103	81	68	59	51	41	34	26	18	15	11	8	4	3
<200	262	236	207	169	157	145	135	126	101	84	63	56	44	37	33	31	22	20	20	17	11	4	2
<350	402	363	325	277	255	241	224	190	147	114	77	65	54	44	39	35	27	25	22	16	11	5	4
<500	235	208	177	153	146	138	128	109	93	62	48	40	27	22	20	15	9	8	7	6	2	2	2
500≦	132	112	97	81	72	60	52	37	29	19	12	9	6	6	6	5	4	2	2	2	1	0	0

HRD共同調査生存率  
治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率  
(2001年4月から2010年3月に治療開始した症例)

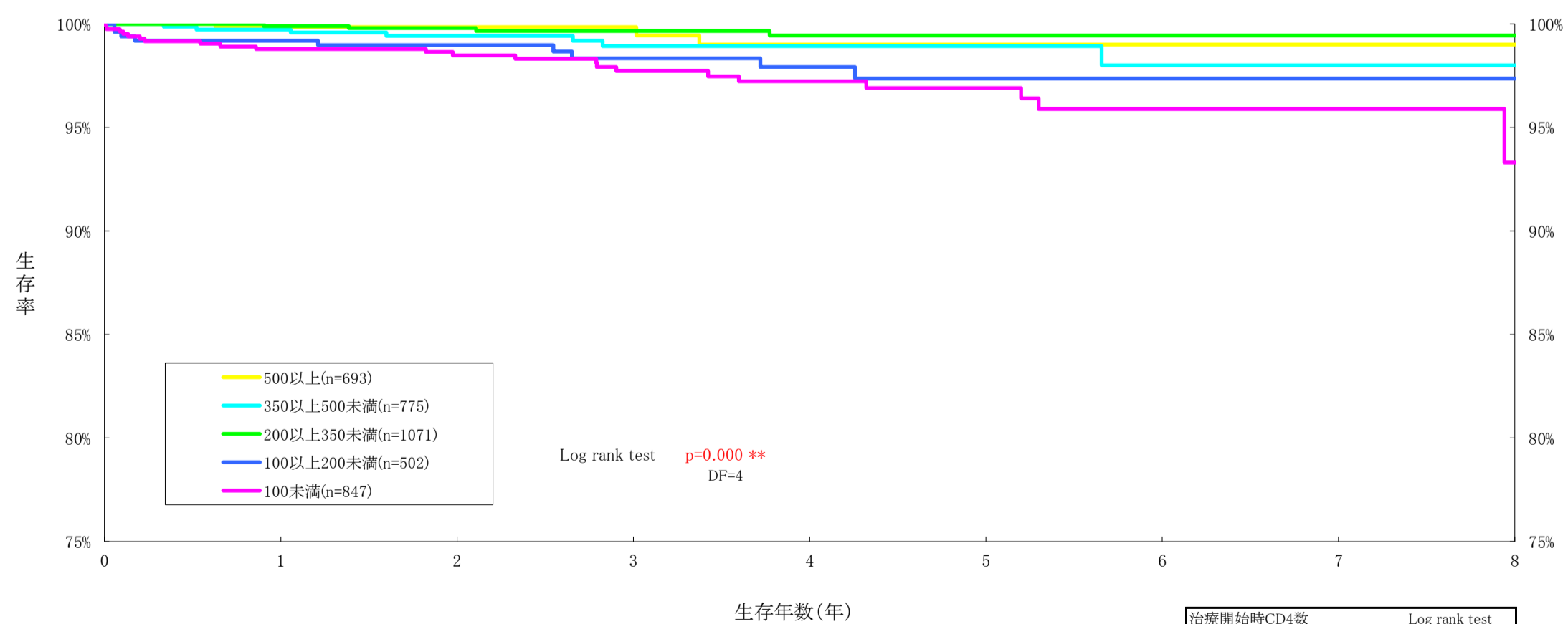


治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。  
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法構成比など)による影響は考慮していない。  
治療開始時のCD4数500前後において群間に有意な差を認めなくなっているが、観察期間後期では、打ち切り(転院等)による追跡不能例、生存しているが調査終了により追跡ができない例などにより各群の症例数が少なくなったこと等が要因として考えられる。  
下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.337
350未満 vs 350以上	p=0.086
200未満 vs 200以上	p=0.009 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

治療開始時CD4数	0年	生存年数																			
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)	(19年)	
<100	1155	1054	963	896	773	580	434	326	218	171	114	74	44	35	28	22	14	8	2	0	0
<200	751	709	671	626	529	389	289	197	148	116	77	52	26	19	12	4	0	0	0	0	0
<350	754	706	662	605	488	356	276	194	143	118	78	46	30	21	12	8	2	1	0	0	0
<500	193	173	154	136	116	93	80	66	50	43	26	16	10	8	6	4	2	1	0	0	0
500≦	106	97	81	72	60	44	37	27	22	17	11	6	5	3	2	2	0	0	0	0	0

HRD共同調査生存率  
治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率  
(2010年4月以降に治療開始した症例)



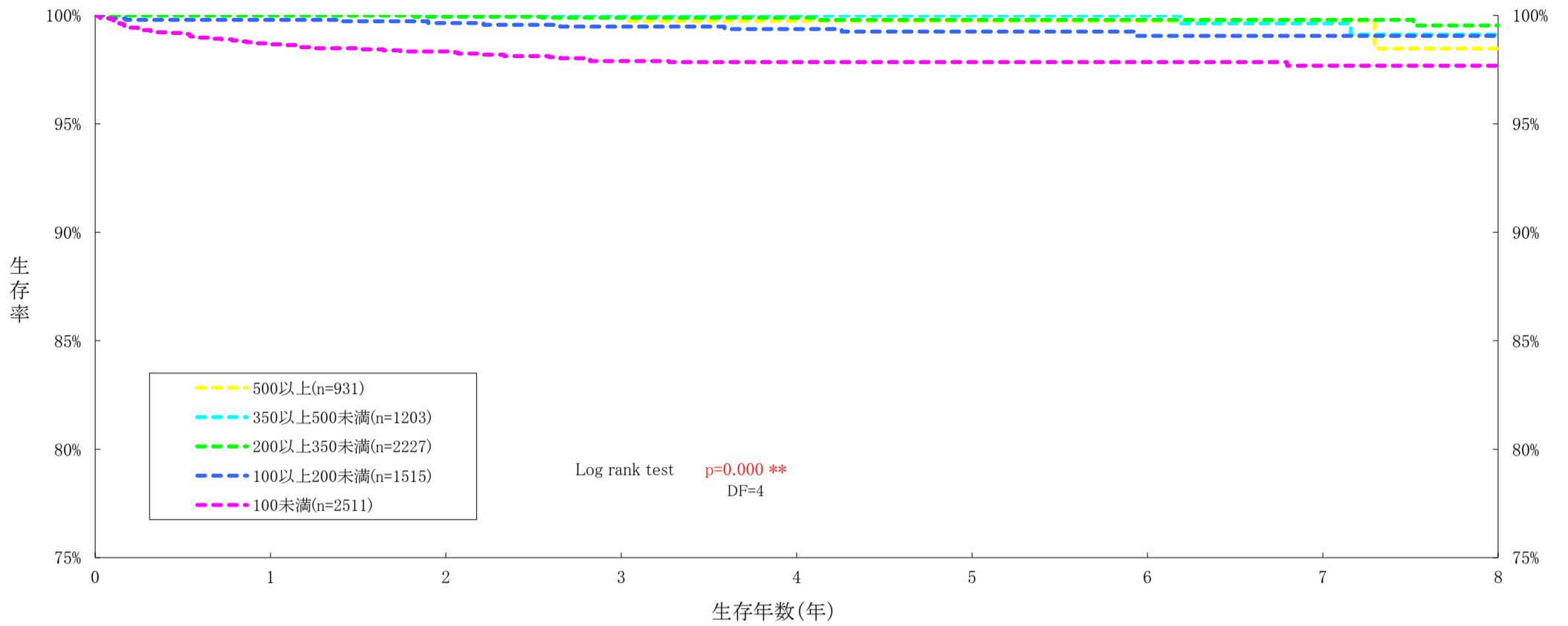
治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。  
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法構成比など)による影響は考慮していない。  
治療開始時のCD4数500前後において群間に有意な差を認めなくなっているが、観察期間後期では、打ち切り(転院等)による追跡不能例、生存しているが調査終了により追跡ができない例などにより各群の症例数が少なくなったこと等が要因として考えられる。  
下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.091
350未満 vs 350以上	p=0.079
200未満 vs 200以上	p=0.000 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

治療開始時CD4数	0年	生存年数									
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)
<100	847	724	610	451	323	212	108	59	33	3	0
<200	502	443	363	266	190	121	65	38	19	2	0
<350	1071	944	784	579	404	263	133	68	41	3	0
<500	775	670	479	340	221	149	70	31	20	2	0
500≦	693	598	394	260	168	100	44	19	12	3	0

＜調査対象全症例における治療開始時のCD4数別生存率(AIDS指標疾患による死亡)＞

HRD共同調査生存率(AIDS指標疾患による死亡)  
 治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率  
 (調査期間:1997年8月から2020年3月)



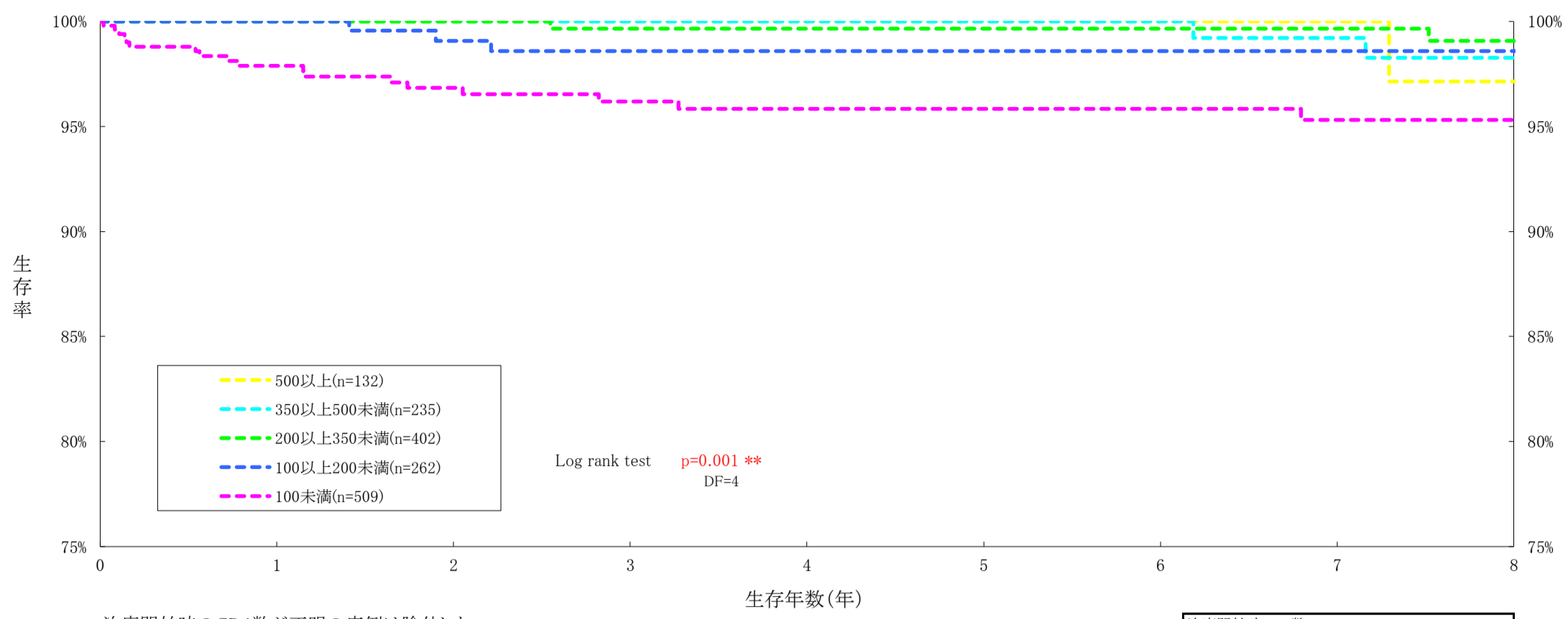
治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。  
 本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や  
 治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。  
 下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.055
350未満 vs 350以上	p=0.001 **
200未満 vs 200以上	p=0.000 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

治療開始時 CD4数	生存年数												
	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)		
<100	2511	2175	1905	1625	1355	1041	754	561	395	277	195		
<200	1515	1388	1241	1061	876	655	489	361	268	202	140		
<350	2227	2013	1771	1461	1147	860	633	452	331	235	155		
<500	1203	1051	810	629	483	380	278	206	163	107	74		
500 ≤	931	807	572	413	300	204	133	83	63	39	23		
治療開始時 CD4数別の 生存者数	生存年数												
	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)	(19年)	(20年)	(21年)	(22年)	
	<100	142	103	86	69	56	40	26	17	11	8	4	3
	<200	108	70	56	45	35	22	20	20	17	11	4	2
	<350	111	84	65	51	43	29	26	22	16	11	5	4
	<500	56	37	30	26	19	11	9	7	6	2	2	2
	500 ≤	15	11	9	8	7	4	2	2	2	1	0	0



HRD共同調査生存率(AIDS指標疾患による死亡)  
 治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率  
 (2001年3月以前に治療開始した症例)

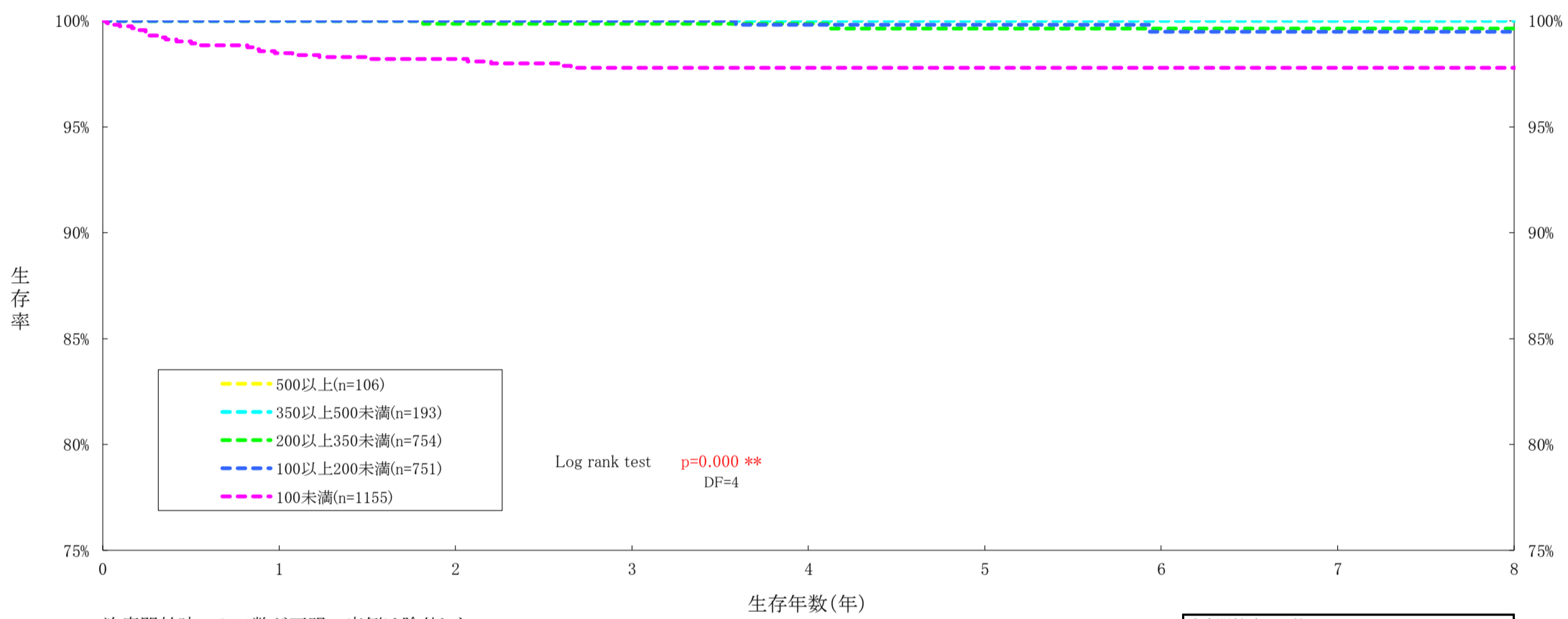


治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。  
 本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や  
 治療内容(2剤以下の抗HIV療法)の構成比などによる影響は考慮していない。  
 下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.431
350未満 vs 350以上	p=0.138
200未満 vs 200以上	p=0.001 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

治療開始時 CD4数	生存年数																						
	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)	(19年)	(20年)	(21年)	(22年)
<100	509	397	332	278	259	249	212	176	144	103	81	68	59	51	41	34	26	18	15	11	8	4	3
<200	262	236	207	169	157	145	135	126	101	84	63	56	44	37	33	31	22	20	17	11	4	2	
<350	402	363	325	277	255	241	224	190	147	114	77	65	54	44	39	35	27	25	22	16	11	5	4
<500	235	208	177	153	146	138	128	109	93	62	48	40	27	22	20	15	9	8	7	6	2	2	2
500≦	132	112	97	81	72	60	52	37	29	19	12	9	6	6	6	5	4	2	2	2	1	0	0

HRD共同調査生存率(AIDS指標疾患による死亡)  
 治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率  
 (2001年4月から2010年3月に治療開始した症例)

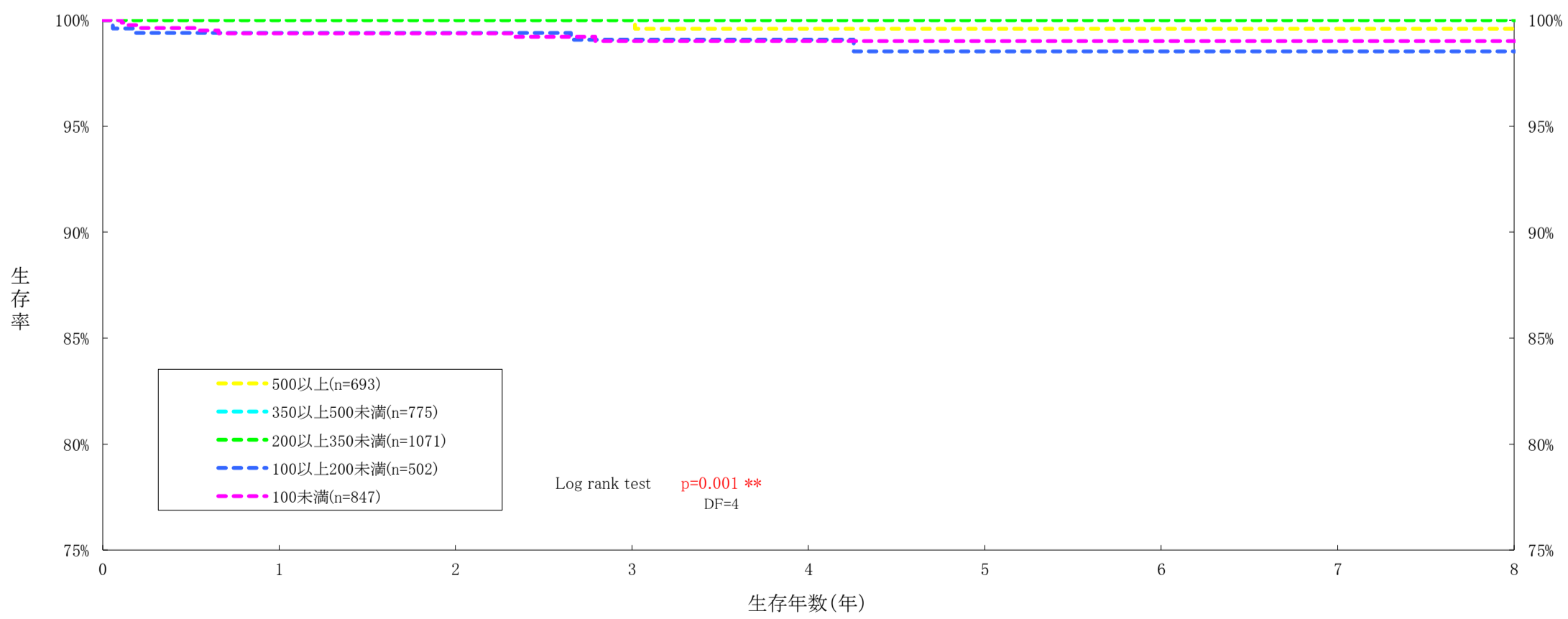


治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。  
 本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や  
 治療内容(2剤以下の抗HIV療法)の構成比などによる影響は考慮していない。  
 下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.311
350未満 vs 350以上	p=0.076
200未満 vs 200以上	p=0.001 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

治療開始時 CD4数	生存年数																					
	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)	(19年)		
<100	1155	1054	963	896	773	580	434	326	218	171	114	74	44	35	28	22	14	8	2	0		
<200	751	709	671	626	529	389	289	197	148	116	77	52	26	19	12	4	0	0	0	0		
<350	754	706	662	605	488	356	276	194	143	118	78	46	30	21	12	8	2	1	0	0		
<500	193	173	154	136	116	93	80	66	50	43	26	16	10	8	6	4	2	1	0	0		
500≦	106	97	81	72	60	44	37	27	22	17	11	6	5	3	2	2	0	0	0	0		

HRD共同調査生存率(AIDS指標疾患による死亡)  
 治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率  
 (2010年4月以降に治療開始した症例)



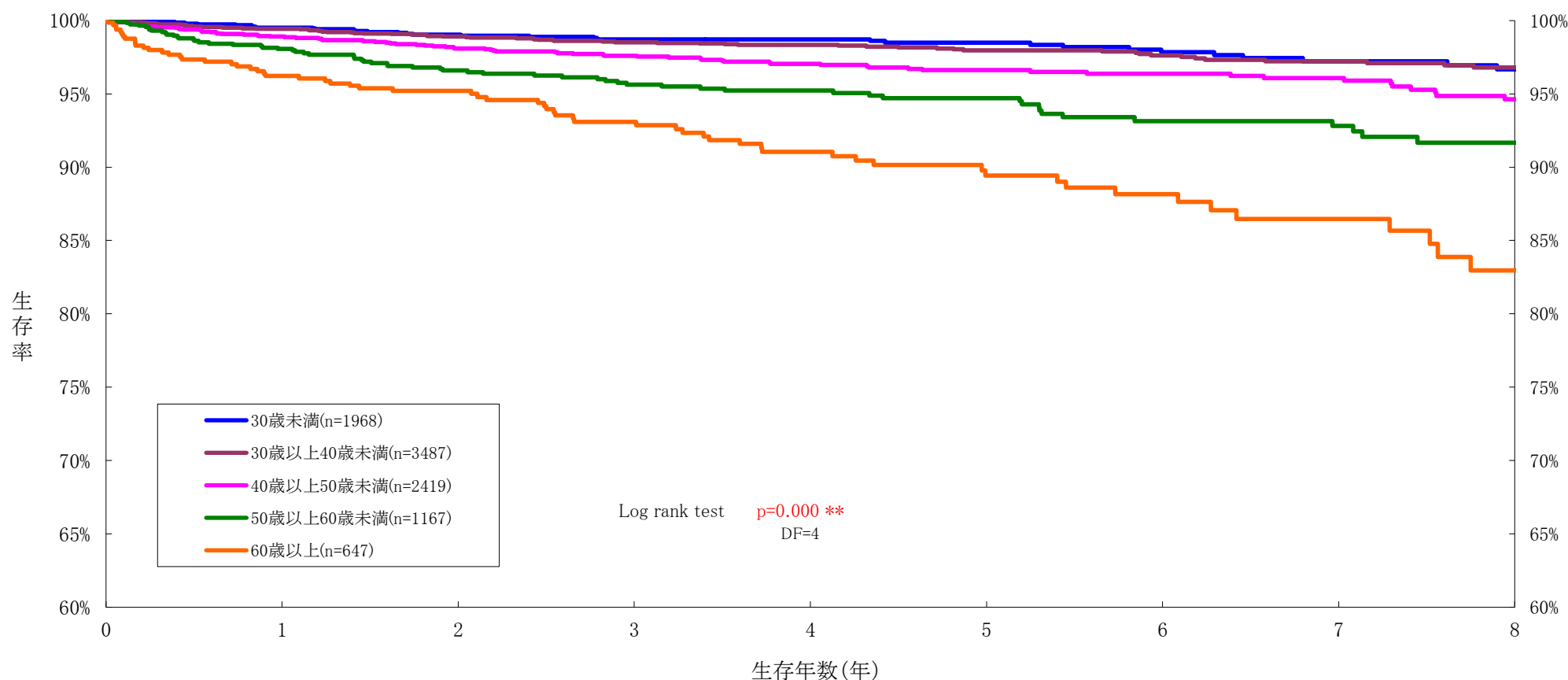
治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。  
 本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や  
 治療内容(2剤以下の抗HIV療法)の構成比などによる影響は考慮していない。  
 下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.393
350未満 vs 350以上	p=0.035 *
200未満 vs 200以上	p=0.000 **
100未満 vs 100以上	p=0.006 **

治療開始時 CD4数	生存年数										
	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)
<100	847	724	610	451	323	212	108	59	33	3	0
<200	502	443	363	266	190	121	65	38	19	2	0
<350	1071	944	784	579	404	263	133	68	41	3	0
<500	775	670	479	340	221	149	70	31	20	2	0
500≦	693	598	394	260	168	100	44	19	12	3	0

＜調査対象全症例における治療開始時の年齢別生存率＞

HRD共同調査生存率  
 治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率  
 (調査期間: 1997年8月から2020年3月)

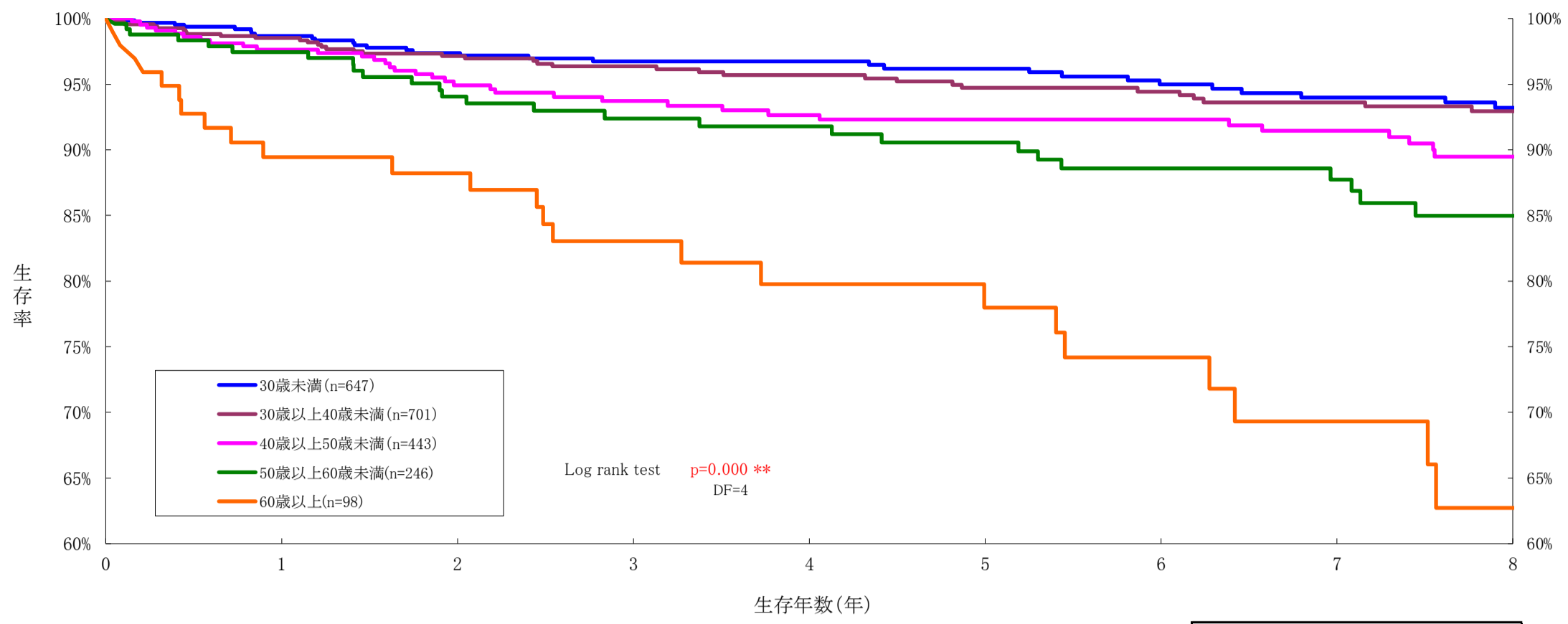


本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時年齢	Log rank test
30歳未満 vs 30歳以上	p=0.000 **
40歳未満 vs 40歳以上	p=0.000 **
50歳未満 vs 50歳以上	p=0.000 **
60歳未満 vs 60歳以上	p=0.000 **

治療開始時年齢	治療開始時年齢	生存年数											
		0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	
治療開始時年齢別の生存者数	<30	1968	1707	1441	1155	921	721	540	420	327	247	170	
	<40	3487	3110	2692	2272	1857	1408	1054	790	597	437	298	
	<50	2419	2191	1875	1541	1217	949	711	526	395	279	182	
	<60	1167	1035	879	732	603	465	346	268	194	139	99	
	60≤	647	574	469	390	318	246	172	115	84	62	40	
	治療開始時年齢	生存年数											
		(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)	(19年)	(20年)	(21年)	(22年)
	<30	134	95	78	70	57	40	34	31	23	20	9	6
	<40	224	162	129	104	89	64	50	38	31	17	7	4
	<50	136	92	69	47	36	25	16	13	11	7	2	2
	<60	74	58	49	34	21	12	7	5	5	3	1	0
	60≤	29	18	13	11	8	7	4	2	1	1	0	0

HRD共同調査生存率  
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率  
(2001年3月以前に治療開始した症例)

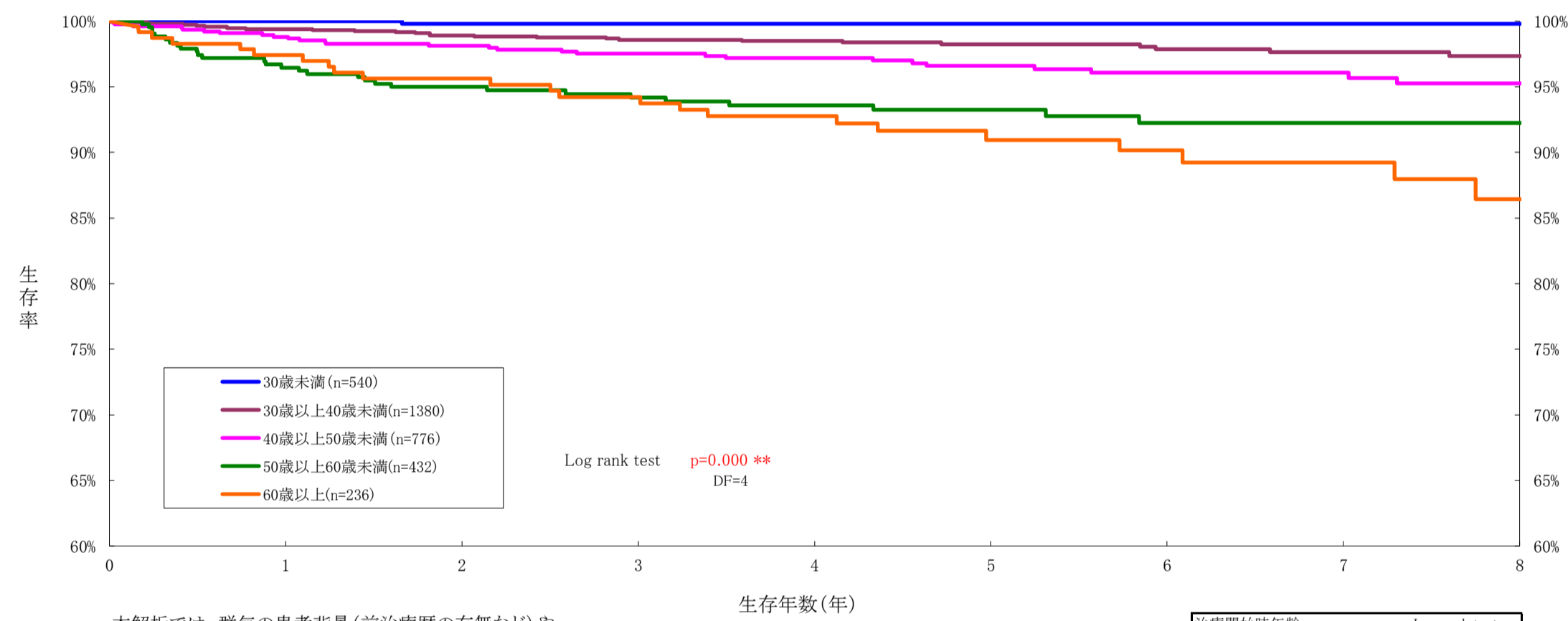


本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時年齢	Log rank test
30歳未満 vs 30歳以上	p=0.001 **
40歳未満 vs 40歳以上	p=0.000 **
50歳未満 vs 50歳以上	p=0.000 **
60歳未満 vs 60歳以上	p=0.000 **

治療開始時年齢別の生存者数	治療開始時年齢	生存年数																						
		0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)	(19年)	(20年)	(21年)	(22年)
	<30	647	563	490	405	362	333	304	273	230	177	121	100	75	64	58	49	35	31	30	23	20	9	6
	<40	701	603	524	447	409	383	349	305	248	192	143	123	107	89	76	69	57	44	38	31	17	7	4
	<50	443	388	333	279	261	254	232	202	168	128	85	72	54	41	33	27	19	14	12	11	7	2	2
	<60	246	209	183	155	150	141	125	102	77	59	43	36	32	28	21	14	9	6	5	5	3	1	0
	60≦	98	79	70	55	47	44	32	25	19	16	11	10	6	6	6	6	6	3	2	1	1	0	0

HRD共同調査生存率  
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率  
(2001年4月から2010年3月に治療開始した症例)

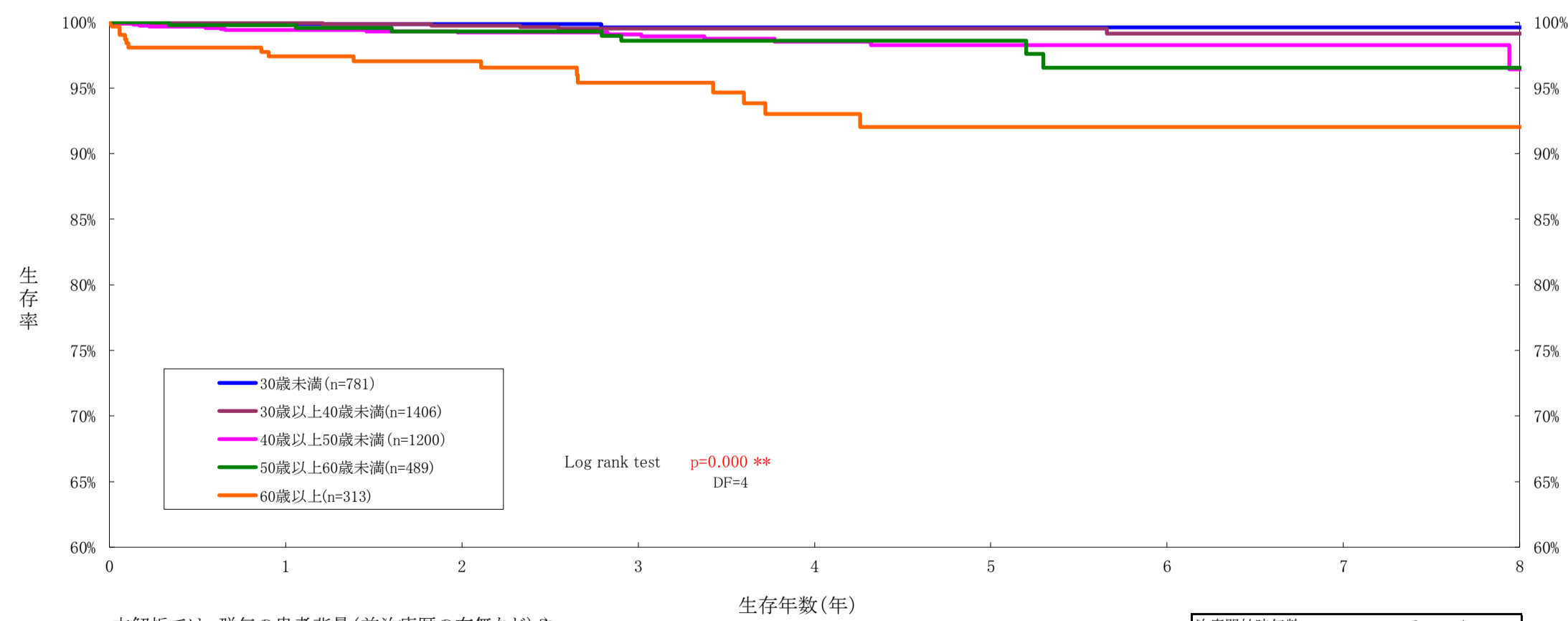


本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時年齢	Log rank test
30歳未満 vs 30歳以上	p=0.000 **
40歳未満 vs 40歳以上	p=0.000 **
50歳未満 vs 50歳以上	p=0.000 **
60歳未満 vs 60歳以上	p=0.000 **

治療開始時年齢別の生存者数	治療開始時年齢	生存年数																				
		0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)	(19年)	
	<30	540	491	448	401	321	240	174	118	83	68	49	34	20	14	12	8	5	3	1	0	0
	<40	1380	1286	1187	1098	927	681	520	381	293	237	155	101	55	40	28	20	7	6	0	0	0
	<50	776	721	672	629	536	414	328	246	179	147	97	64	38	28	14	9	6	2	1	0	0
	<60	432	398	371	335	285	213	164	135	98	77	56	38	26	21	13	7	3	1	0	0	0
	60≦	236	221	206	197	171	133	101	74	53	45	29	19	12	7	5	2	1	1	0	0	0

HRD共同調査生存率  
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率  
(2010年4月以降に治療開始した症例)



本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

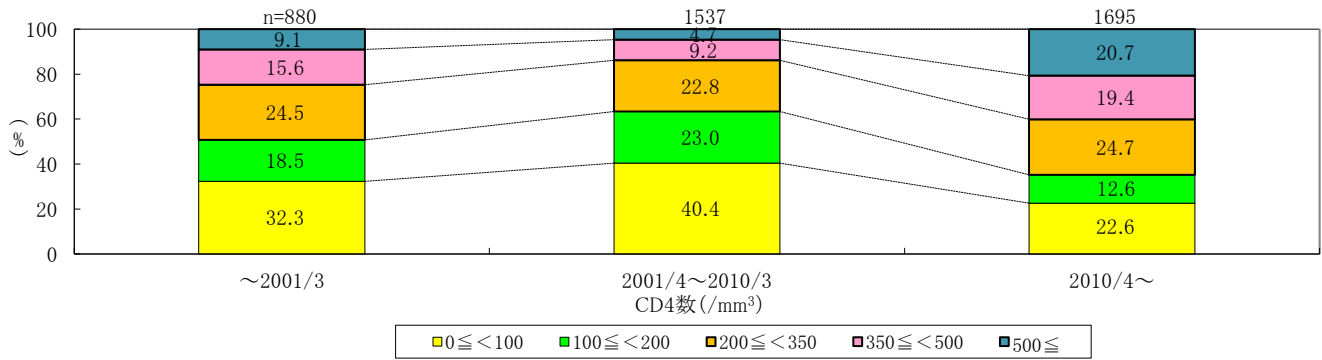
治療開始時年齢	Log rank test
30歳未満 vs 30歳以上	p=0.021 **
40歳未満 vs 40歳以上	p=0.000 **
50歳未満 vs 50歳以上	p=0.000 **
60歳未満 vs 60歳以上	p=0.000 **

治療開始時年齢別の生存者数	治療開始時年齢	生存年数										
		0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)
	<30	781	653	503	349	238	148	62	29	14	2	0
	<40	1406	1221	981	727	521	344	185	104	56	8	0
	<50	1200	1082	870	633	420	281	151	78	48	4	0
	<60	489	428	325	242	168	111	57	31	19	3	0
	60≦	313	274	193	138	100	69	39	16	12	1	0

<調査対象全症例における治療経験有無別の治療開始時のCD4数及びHIV-RNAコピー数>

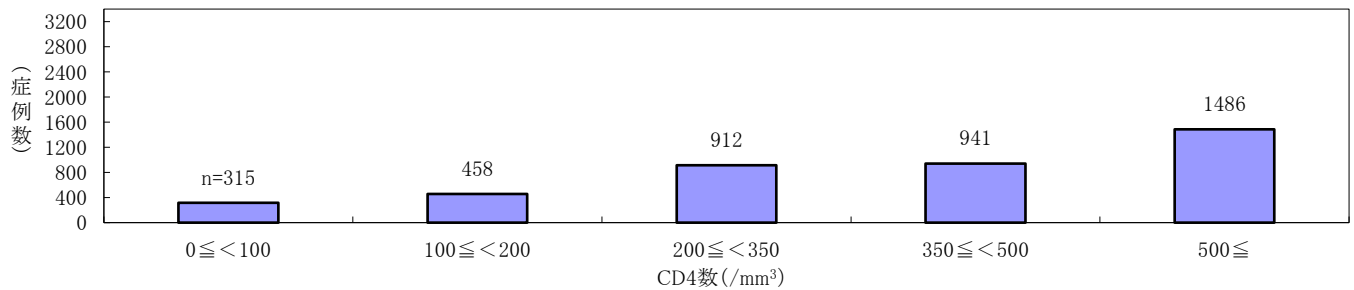
治療経験が無い患者 (naive患者) の治療開始時のCD4数

(調査期間: 1997年8月から2020年3月) (n=4112)



併用療法薬剤変更時のCD4数

(調査期間: 1997年8月から2020年3月) (n=4112)



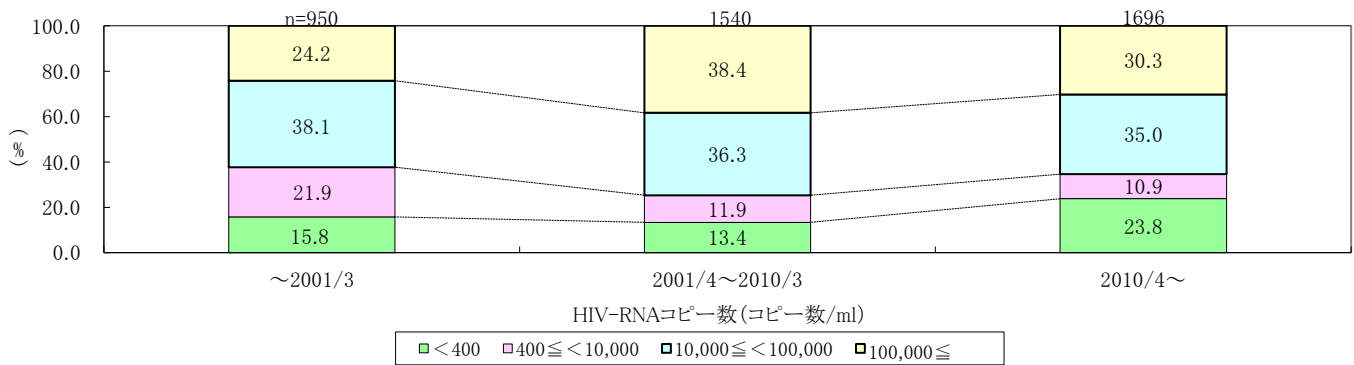
※治療マーカーの数値は必ずしも現在の推奨治療域と一致しているわけではありません。

治療開始にあたっては、最新ガイドライン等を参照、若しくは専門医にご相談ください。

- CD4数100未満で治療されている患者については、エイズ発症後に来院し治療を開始している等の要因が考えられた。治療開始前の測定結果がある治療経験が無い患者で治療開始後薬剤の変更経験がある症例を採用した。
- 併用療法薬剤変更時のCD4数は、治療経験が無い患者への初回処方直後の変更処方区間のみデータを採用した。

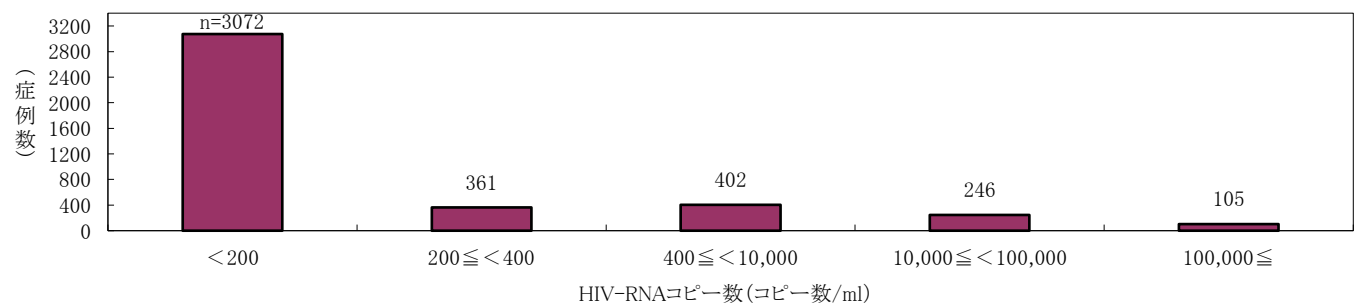
治療経験が無い患者 (naive患者) の治療開始時のHIV-RNAコピー数

(調査期間: 1997年8月から2020年3月) (n=4186)



併用療法薬剤変更時のHIV-RNAコピー数

(調査期間: 1997年8月から2020年3月) (n=4186)



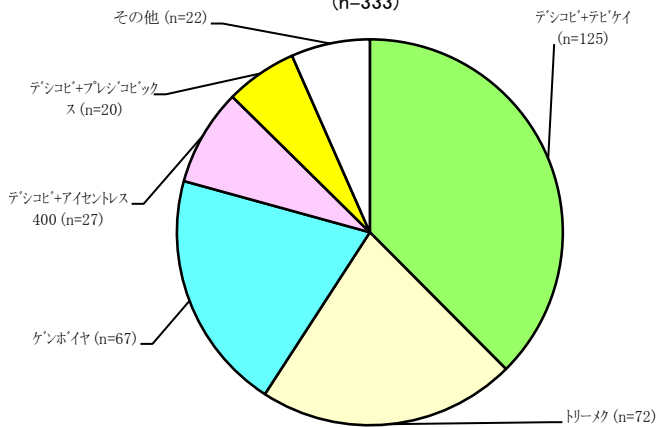
※治療マーカーの数値は必ずしも現在の推奨治療域と一致しているわけではありません。

治療開始にあたっては、最新ガイドライン等を参照、若しくは専門医にご相談ください。

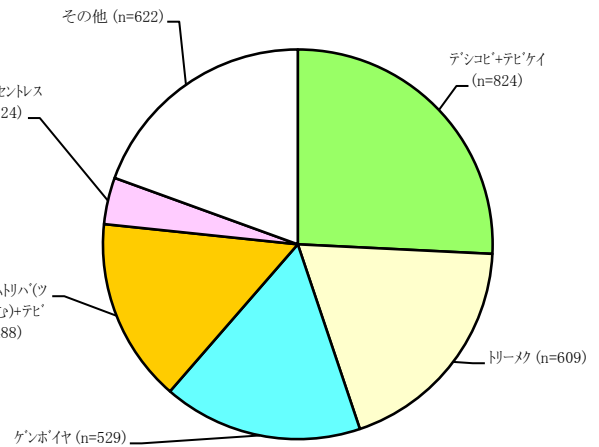
- 治療開始前の測定結果がある治療経験が無い患者で治療開始後薬剤の変更経験がある症例を採用した。
- 併用療法薬剤変更時のHIV-RNAコピー数は、治療経験が無い患者への初回処方直後の変更処方区間のみデータを採用した。

＜2017年度から2019年度に使用された調査対象症例における併用療法の種類(薬剤組合せ)＞

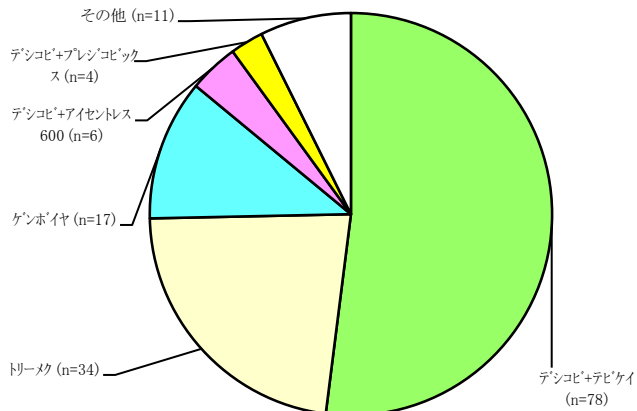
2017年度(2017年4月から2018年3月まで)に治療開始した患者  
(治療経験が無い患者:  
naive患者)  
への併用療法薬剤組合せトップ5  
(n=333)



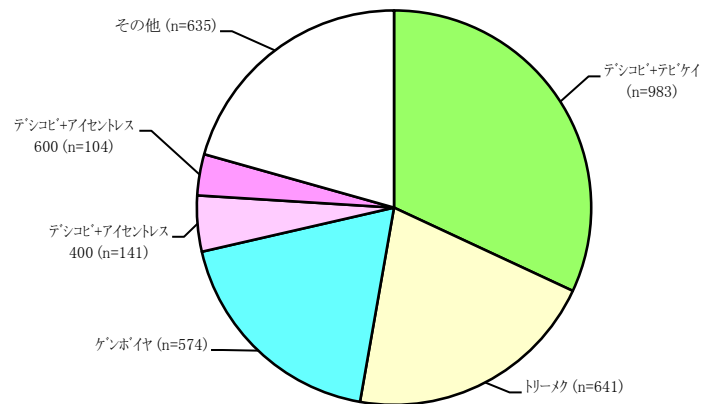
2017年度(2017年4月から2018年3月まで)併用療法の薬剤変更  
後に使用された併用療法  
薬剤組合せトップ5 \*  
(累積n=3196)



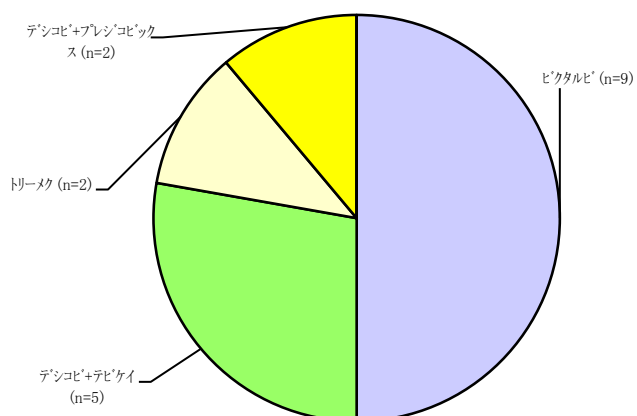
2018年度(2018年4月から2019年3月まで)に治療開始した患者  
(治療経験が無い患者:  
naive患者)  
への併用療法薬剤組合せトップ5  
(n=150)



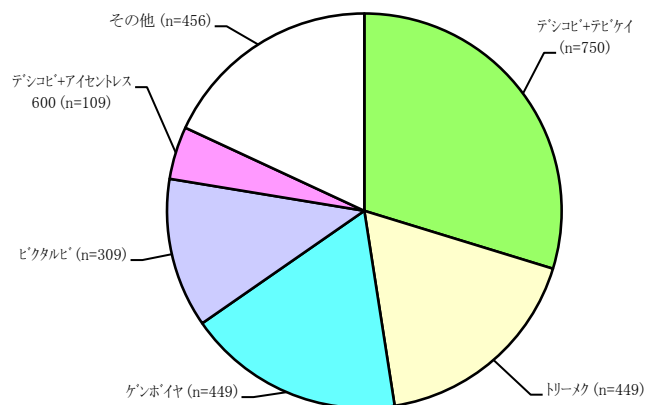
2018年度(2018年4月から2019年3月まで)併用療法の薬剤変更  
後に使用された併用療法  
薬剤組合せトップ5 \*  
(累積n=3078)



2019年度(2019年4月から2020年3月まで)に治療開始した患者  
(治療経験が無い患者:  
naive患者)  
への併用療法薬剤組合せトップ5  
(n=18)



2019年度(2019年4月から2020年3月まで)併用療法の薬剤変更  
後に使用された併用療法  
薬剤組合せトップ5 \*  
(累積n=2522)



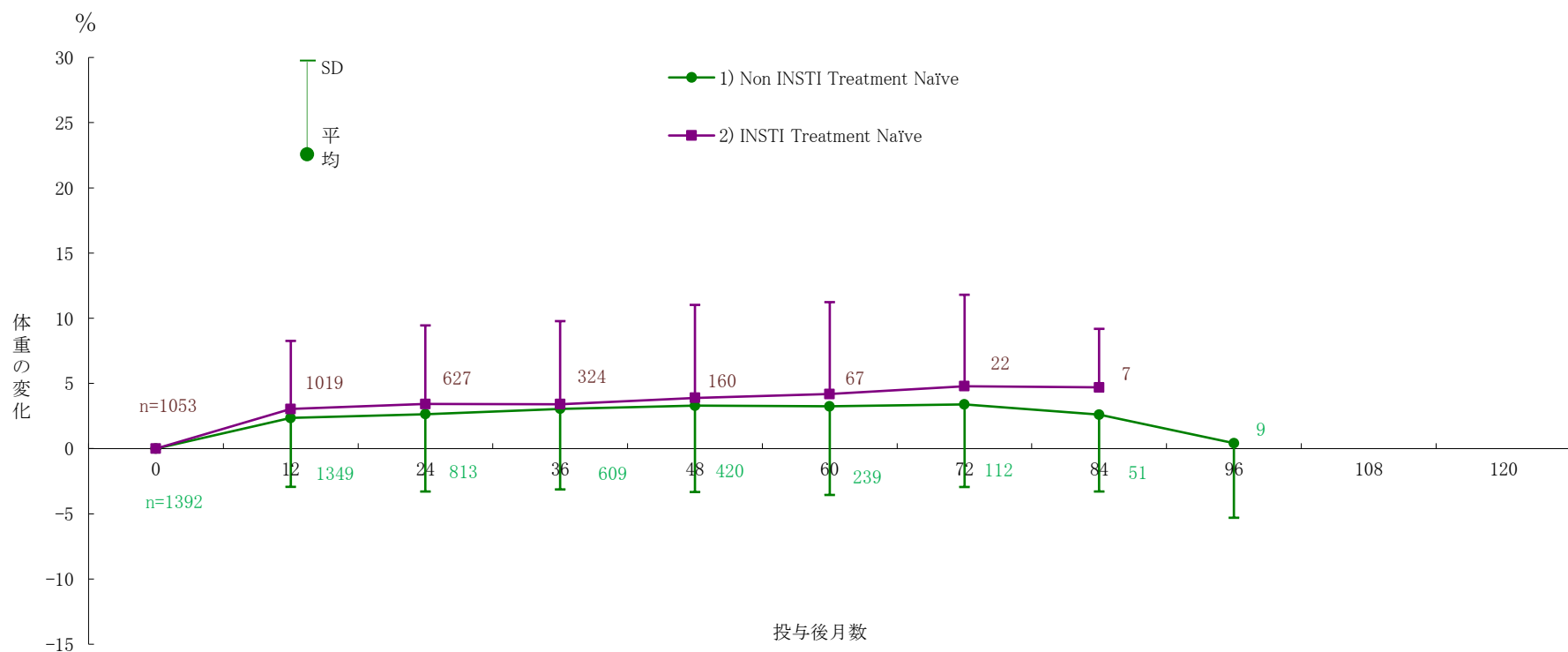
※必ずしも現在の治療ガイドライン等で推奨される併用療法薬剤組合せと一致しているわけではありません。治療開始にあたっては、最新のガイドライン等を参照、若しくは専門医にご相談ください。

- 本調査結果は、本邦におけるエイズ診療の中核となる医療機関での2017年度から2019年度までの調査対象症例における多剤併用療法の使用実態抜粋である。
- 2018年度の症例数が新調査への切替に伴い過去の年度と比較して少ない。

\* 併用された薬剤1剤でも変更されれば「変更」とカウントし、年度内に2度、3度変更されれば、重複カウントした。

＜調査対象全症例における治療開始後の体重の推移＞

体重の推移(インテグラーゼ阻害剤の有無別)  
(調査期間:1997年8月から2020年3月)  
治療経験が無い患者(naive患者)<sup>†</sup>

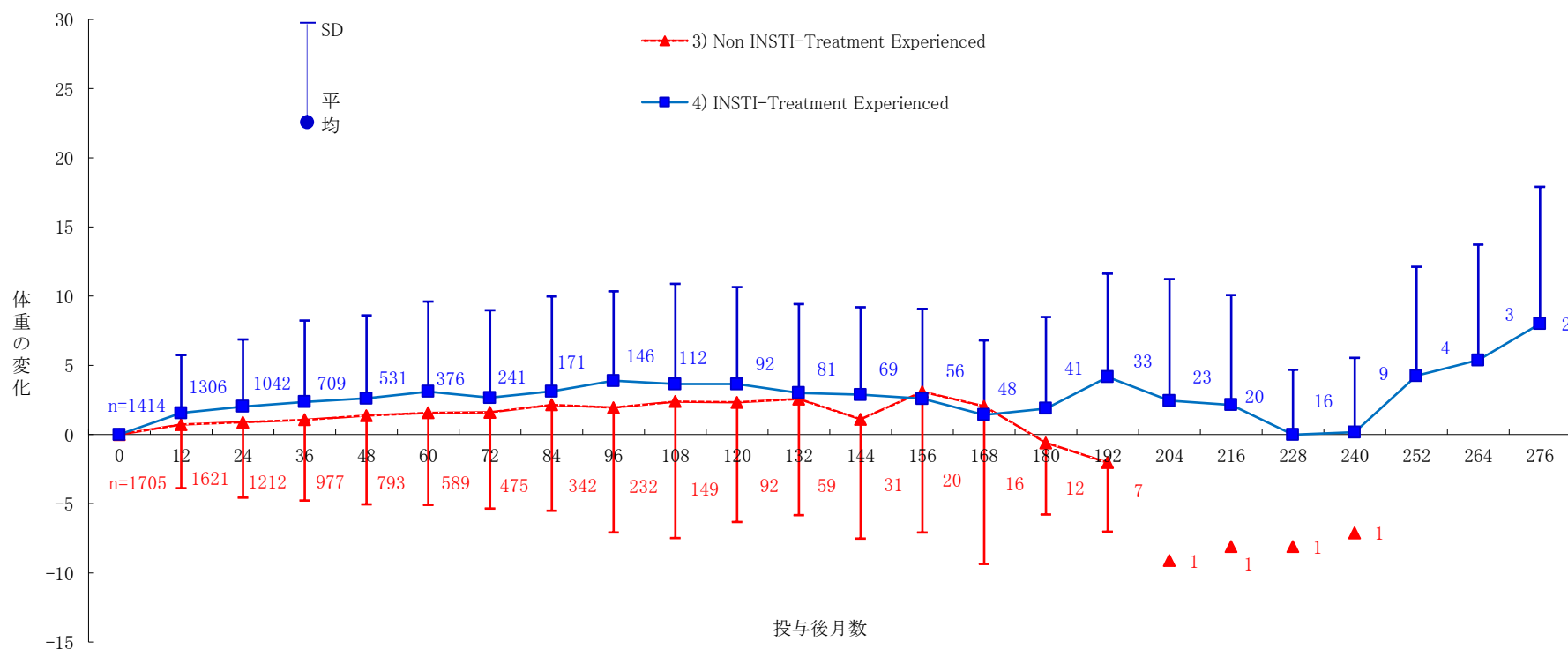


- 1) 治療経験が無く (naive) かつINSTIの投与がない患者
- 2) 治療経験が無く (naive) かつINSTIの投与がある患者

<sup>†</sup> 本調査の登録時に抗HIV薬処方歴が無の症例 (抗HIV薬併用療法の薬剤うち1剤でも変更された時点で脱落とし、experiencedに移行)

※0カ月のベースラインはINSTIを問わず抗HIV薬の治療開始時点とした。

治療経験が有る患者(experienced患者)<sup>‡</sup>



- 3) 治療経験が有り (experienced) かつ本調査前及び本調査期間中においてINSTIの投与がない患者
- 4) 治療経験が有り (experienced) かつ本調査前及び本調査期間中においてINSTIの投与がある患者

<sup>‡</sup> 本調査の登録時に抗HIV薬処方歴が有の症例または、naiveの患者において抗HIV薬併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例

※0カ月のベースラインはINSTIを問わず抗HIV薬の治療開始時点または、初めて併用療法の薬剤が1剤でも変更された時点

<Memo>

A series of horizontal dashed lines for writing a memo, starting from the header and extending down to a solid horizontal line at the bottom of the page.





<Memo>

A series of horizontal lines for writing a memo. The page contains 27 horizontal lines. The top line is a dashed line, and the subsequent lines are solid. The lines are evenly spaced and extend across the width of the page.





HRD 共同調査協議会のホームページ

<http://www.hrd.gr.jp/>